

平成5年度

米子保健所犬管理所新築等

電気設備工事

図面リスト

図面番号	図面名称	縮尺
E 1/13	図面リスト	――
E 2/13	特記仕様書(1)	――
E 3/13	特記仕様書(2)	――
E 4/13	特記仕様書(3)	――
E 5/13	配置図・案内図	S=1/200
E 6/13	電灯設備(犬管理所棟)	S=1/50
E 7/13	照明器具参考姿図・盤結線図	――
E 8/13	電灯設備(車庫棟)	S=1/50
E 9/13	特殊設備工事仕様書	――
E 10/13	処分装置等設備工事 配管図・フローシート	S=1/20
E 11/13	処分装置等設備工事 処分機外形図	S=1/10
E 12/13	処分装置等設備工事 電気配線図・制御盤外形図	S=1/50
E 13/13	処分装置等設備工事 盤結線図・盤内配置図	――

平成5年

図番

01

コード

180105

図番

E 1

電気設備工事仕様書

〔I〕工事概要

1. 工事場所 米子保健所

2. 建物概要

番号	建物名称	構造・階数	延べ面積(㎡)	消防法令別表一	備考
1	管理棟	RC・1	120.48	()項の	
2	車庫棟	S・1	80.50	()項の	
3				()項の	
4				()項の	
5				()項の	

3. 工事種別 (◎印を摘要する。)

工事種目	1	2	3	4	5	屋外	備考
◎構内配電線路設備						○	
・受変電設備							
・自家発電設備							
◎幹線設備	○						
◎動力設備	○						
◎電灯設備	○	○					
◎構内通信線路設備						○	
◎電話配管設備	○						
・電気時計設備							
・拡声設備							
・表示設備(呼出含む)							
・インターホン設備							
・テレビ共同受信設備							
・火災報知設備(非常警報含む)							
・ガス漏れ警報設備							
・防犯設備							
・外灯設備							
・避雷設備							
・構内電話交換設備							
・							

4. 設備概要 (◎印が付いたものが該当する。)

◎電気工作物	・新設 ◎既設 (・増設・改修・)	・一般電気工作物 (・従量電灯甲・従量電灯乙・低圧電力・)	・自家用電気工作物 (◎業務用電力・高圧電力・)	(非自家用含む) 契約電力: Kw 基準電力: Kw
・受変電設備	受変電形式 屋内キュービクル式 屋内フレーム式	設備容量 動力変圧器 KVA (台) 電灯変圧器 KVA (台) 計 KVA (台)		
・自家発電設備	用途 一般用 防災用 (日本内燃力発電設備協会認定:金ラベル)	原動機 ディーゼル機関 (・キュービクル式・オープン形・)	容量 三相3線式 V 60HZ KVA	
◎動力設備	用途 ◎衛生 (給水・排水) ◎空調 (冷房・暖房・換気) 防災用 (消火栓・)	遠方監視制御 有 ◎無		
◎電灯設備	用途 ◎一般照明 非常照明 ◎その他 (主照明形式 ◎蛍光灯 ◎白熱灯 ◎放電灯 (非常用照明方式 電源内蔵方式 電源別置方式)			
◎通信・情報設備	◎電話配管設備 電気時計設備 拡声設備 (・一般用・防災用・兼用) 表示設備 (呼出含む) インターホン設備 テレビ共同受信設備 (BS、UV共用) ◎その他 (・)			
・防災設備	・自動火災報知設備 自動閉鎖装置 非常警報設備 ガス漏れ警報設備 非常電源設備 非常用照明設備 誘導灯設備 防犯設備 避雷設備 ◎その他 (・)			
◎屋外設備	◎構内配電線路設備 ◎構内通信線路設備 構内外灯設備 ◎その他 (・)			

〔II〕工事仕様

1. 共通仕様

図面、特記仕様及び現場説明書に記載されていない事項は、建設大臣官庁官庁営繕部監修の電気設備工事共通仕様書(平成元年版) (以下「共通仕様書」という)及び電気設備工事標準図(平成元年版) (以下「標準図」という)による。

2. 特記仕様

- (1) 章及び項目は番号に○印のついたものを適用する。
(2) 特記事項のうち選択する項目は◎印のついたものを適用する。
(3) 特記事項に記載の()内番号は、電気設備工事共通仕様書の当該項目を示す。

章	項目	特記事項																														
1.	電気主任技術者の資格	工事現場におく電気主任技術者は、鳥取県土木部営繕工事業用電気工作物保安規定第5条に定める工事担当者の職務を補佐し、当該工事の工事期間中自家用電気工作物の保安の業務を行うものとし、電気主任技術者はつぎに掲げる資格を有する者とする。(共.1.1.1.10) ・ 最大電力が500KW以上の電気工作物は第三種主任技術者免状有資格者以上。 ・ 最大電力が500KW未満の電気工作物は1級電気工事施工管理技士有資格者以上。 *最大電力とは電気事業法でいう電力需給契約の契約電力をいう。																														
②	官公署その他への手続等	工事の施工に伴う必要な官公署その他への手続及び検査等これに要する費用は、本工事の請負者の負担とする。(共.1.1.7)																														
③	機材	本工事に使用する機材等は、「[Ⅲ]設備機材等指定表」によるほか同等品以上とする。ただし、同等品以上とする場合は監督員の承諾を受けること。(共.1.4.1)																														
④	工事用電力・水・その他	本工事に必要な工事用電力、水、その他工事に必要な費用及び手続はすべて請負者の負担とする。																														
⑤	工事用仮設物	構内に設けることが ◎ 出来る ◎ 出来ない																														
⑥	発生材の処理	引渡しを要するもの ◎ なし (共.1.1.9) ◎ 有り (・) ・ 山砂の類 ◎ 根切土のなかの良質土 ・ 構外に搬出し適切に処理 ◎ 構内敷きならし ◎ 構内の指示する場所に堆積																														
⑦	土工事	(ア) 埋め戻し土 (イ) 残土処分																														
⑧	工事写真	営繕工事写真作成要領(電気・機械設備編)により作成する。工事写真撮影方法(建設大臣官庁営繕部監修)を参考に作成する。																														
⑨	完成写真	提出する(部) ◎ 提出しない																														
⑩	完成図・その他	つぎの完成図書を工事の完成引渡し時に監督員に提出する。(共.1.6.2) <table><tr><th>名称</th><th>規格</th><th>部数</th></tr><tr><td>◎ 完成図原図</td><td>・ A1版 ◎ A2版</td><td>1部</td></tr><tr><td>・ 完成図のマイクロフィルム</td><td>台紙に工事名、年度等を記入</td><td>1部</td></tr><tr><td>・ (A-3版)</td><td>現場保存用(ファイルにて整理)</td><td>1部</td></tr><tr><td>◎ 完成図の製本</td><td>A-4版(保存用の完成図書)</td><td>2部</td></tr><tr><td>◎ 完成図の2つ折製本(保全用)</td><td>・ A1版 ◎ A2版</td><td>2部</td></tr><tr><td>◎ 主要機器製作図</td><td>機器製作図は原図は不要</td><td>2部</td></tr><tr><td>◎ 各種試験成績書</td><td>絶縁、接地、照度、電界強度その他</td><td>2部</td></tr><tr><td>◎ 保守用説明書・その他</td><td>保守説明書、取扱説明書、ほか</td><td>2部</td></tr><tr><td>◎ 官公署届出書類</td><td></td><td>1部</td></tr></table> *完成図の製本A-4版に主要機器製作図、各種試験成績表等を合わせ製本する。	名称	規格	部数	◎ 完成図原図	・ A1版 ◎ A2版	1部	・ 完成図のマイクロフィルム	台紙に工事名、年度等を記入	1部	・ (A-3版)	現場保存用(ファイルにて整理)	1部	◎ 完成図の製本	A-4版(保存用の完成図書)	2部	◎ 完成図の2つ折製本(保全用)	・ A1版 ◎ A2版	2部	◎ 主要機器製作図	機器製作図は原図は不要	2部	◎ 各種試験成績書	絶縁、接地、照度、電界強度その他	2部	◎ 保守用説明書・その他	保守説明書、取扱説明書、ほか	2部	◎ 官公署届出書類		1部
名称	規格	部数																														
◎ 完成図原図	・ A1版 ◎ A2版	1部																														
・ 完成図のマイクロフィルム	台紙に工事名、年度等を記入	1部																														
・ (A-3版)	現場保存用(ファイルにて整理)	1部																														
◎ 完成図の製本	A-4版(保存用の完成図書)	2部																														
◎ 完成図の2つ折製本(保全用)	・ A1版 ◎ A2版	2部																														
◎ 主要機器製作図	機器製作図は原図は不要	2部																														
◎ 各種試験成績書	絶縁、接地、照度、電界強度その他	2部																														
◎ 保守用説明書・その他	保守説明書、取扱説明書、ほか	2部																														
◎ 官公署届出書類		1部																														
11.	施工計画書の提出	工事の着工に先立ち、工事の総合仮設をまとめた施工計画書を作成し監督員に提出する。 ただし、工種別施工計画書についてはその都度提出してもよい。(共.1.3.2)																														
⑫	工事記録の提出	(ア) 工事の全般的な経過を記載した文書を、原則として毎週作成し監督員に提出する。 (イ) 監督員が指示した事項又は監督員と協議した事項について記録し、監督員に提出する。 ただし、軽易な事項については、監督員の承諾を受けて省略することができる。																														
⑬	既存設備の絶縁抵抗測定	工事着手前に既存の電気設備の絶縁抵抗を監督員の指示により測定し、測定結果を監督員に書面にて提出する。																														
14.	テレビ電界強度の測定	・ アンテナ設置計画場所の電界強度を工事中に測定し、測定結果を監督員に書面にて報告する。 ・ 既存のテレビ共同受信設備に接続する場合は接続点及び受信点の電界強度を測定し、測定結果を監督員に書面にて報告する。																														
15.	既存機器の再使用	既存の機器のうち取りはずし再使用する機器は、清掃及び絶縁抵抗測定のうえ適切に保管し、その結果を監督員に文書にて報告する。																														
⑬	火災保険等	工事目的及び工事材料等工事施工途中の事故に伴う損害をてん補するため、火災保険等に参加。 ◎ 保険に加入する。(保険の加入期限は、工事完成引き渡し迄とする。) ・ 保険に加入しない。																														
17.	部分引き渡し	工事の完成に先だって引き渡しをする部分(指定部分) ・ 指定部分有り(図面番号 / のとおり) ・ 指定部分無し (ア) 鉄筋コンクリート部の貫通箇所及び開口部の補強、配管等の箱入れ、スリーブ等 補強 ◎ 本工事 ◎ 別途工事(建築工事) 箱入れ・スリーブ ◎ 本工事 ◎ 別途工事() (イ) 天井、壁等の切り込み箇所の下地の補強 ◎ 本工事 ◎ 別途工事(引出しは本工事)																														
⑬	他工事との取合い																															

一般共通事項

(ウ) 天井、壁等の下地材、仕上材の切り込み

- ・ 本工事 ・ 別途工事

(エ) アンテナ、避雷針支持物の基礎及びアンカーボルト

- 基礎 ◎ 本工事 ◎ 別途工事(建築工事)

- アンカーボルト ◎ 本工事 ◎ 別途工事(建築工事)

(オ) 電気室、自家発電機室等の基礎、ピット(蓋を含む)及びアンカーボルト

- 基礎 ◎ 本工事 ◎ 別途工事(アンカー除く)

- ピット ◎ 本工事 ◎ 別途工事

(カ) 自動閉鎖装置等の機器及び機器への接続

- 防火戸 ◎ 本工事 ◎ 別途工事(建築工事)

- その他の扉 ◎ 本工事 ◎ 別途工事(建築工事)

- 機器への接続 ◎ 本工事

(キ) 軽量鉄骨壁の位置ボックス等の取り付け用下地の補強

- ・ 本工事 ◎ 別途工事(建築工事)

(ク) 他工事の機器付属の制御盤及び操作盤以降の配線

- ・ 本工事 ◎ 別途工事()

(ケ) 空調等機器用コントロールスイッチ等の配線工事及び機器取付け

- 配線工事 ◎ 本工事 ◎ 別途工事(機械工事)

- 機器への接続 ◎ 本工事 ◎ 別途工事(機械工事)

(コ) 別途盤類への渡り配線の接続(配線が本工事の場合で別途盤一次まで)

- ◎ 本工事 ◎ 別途工事()

19. はつり工事

既存建物のコンクリートの床、壁等の貫通部の穴あけは、監督員と協議し建築構造に支障のない場所に設ける。

穴あけは原則としてダイヤモンドカッターによる。

工事の施工に伴い既成部分を汚損または損傷した場合は、既成にならない補修する。

屋上、屋側に設ける支持金物(アンカー、ダクター類)はステンレス製とする。

地中埋設表示は共通仕様書によるほか図示の箇所に設ける。(共.2.14.4)

- ・ 黄銅板製(避雷設備用埋設表示)

◎ コンクリート杭に方向及び種別を記入したもの(上記以外の接地極及び地中配線の埋設表示を含む)とする。

ただし、舗装された場所は鍍鉄製のものとする。

地中配線には標識シートを管頂と地表面(舗装のある場合は舗装下面)のほぼ中間に設ける。

接地極の材料はつぎによる。なお、接地棒(EB)は、L=1,500mmとする。

接地の種類	記号	接地抵抗	接地極
・ 共同接地	E1a	Ω以下	EB (D=14又はW=40) × 3連組
・ 第1種	E1	10Ω以下	EB (D=14又はW=40) × 3連2組
・ 第2種	E2	Ω以下	EB (D=10又はW=30) × 2連2組
◎ 第3種	E3	100Ω以下	EB (D=10又はW=30) × 1連
・ 特第3種	E3a	10Ω以下	EB (D=14又はW=40) × 3連組
・ 避雷用	E1	Ω以下	EP × 1
・ 交換機用	E1	Ω以下	EB (D=14又はW=40) × 3連組
・ 通信用	E1t	10Ω以下	EB (D=14又はW=40) × 3連2組
・ 通信用	E2t	100Ω以下	EB (D=10又はW=30) × 1連
・ 通信用	E3	100Ω以下	EB (D=10又はW=30) × 1連
・ 測定用	E0	—	EB (D=10又はW=30) × 1連
・			

25. 耐振施工

設備機器の固定は「建築設備耐震設計・施工指針(建設省住宅局建築指導課監修)」による。

特に重要度の高い設備機器

- ・ 配電盤 ・ 自家発電装置 ・ 非常用電源装置 ・ 交換機 ・ 防災機器

⑫ 結露防止

外部に面する壁、スラブ等で打ち込みとなるボックス等は保温、結露防止処理を行う。

⑫ 露出配管等の塗装

露出した部分の配管、ボックス及び支持金物等はすべて塗装する。

⑫ 電線本数・管路等

分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線で、配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは監督員との協議により図面表示と多少相違してもよい。

⑫ 予備線

電線管等長さ1m以上の入線しない管路には1.2mm以上のビニル被服鉄線を挿入し、両端に行き先を設ける。

⑫ フラッシュプレートの材質

- ◎ 新金属製 ◎ 樹脂製 ◎ ステンレス製 ◎

31. フロアボックス

フロアに設けるボックスはコンクリートボックス又はアウトレットボックスとする。

32. フロアプレート

水平高低調節付(空転防止リング付)とする。

株式会社 エクス・プラン

／	一級建築士事務所 登録番号 鳥取県第3-214号	検印	担当	作図	作図	5年8月日	工事名	米子保健所大管理所新築等電気設備工事	E2
／	株式会社 足立建築設計事務所					SCALE	図面名	特記仕様書(1)	13
／	境港市福定町494 TEL (0859) 42-2945 FAX (0859) 44-3358								
／	管理建築士 一級建築士登録番号145774 足立 浩								

章	項	目	特	記	事	項	5. 蛍 光 灯 安 定 器	● 低消費形安定器 ● 鉄心改良形(40形直管形) ● 電子回路式 ● 調 光 形	13	1. 工 事 範 囲	● 配 管 ● 配 線 ● 機器取付け ●					
① 構内配電線路設備	① 電 気 方 式	● 三相3線式 6,000V ● 三相3線式 200V	電 灯 設 備	6. 非 常 用 照 明 器 具	● 電池内蔵形 ● 電池別置形 ● 送り端子付き ● 送り端子なし	14	7. 誘 導 灯	● 電池内蔵形 ● 電池別置形	火 災 報 知 設 備	2. 施 工 方 法	● 金属管配線 ● ケーブル配線 ●					
	② 施 工 方 法	● 三相3線式 100/200V ● 単相3線式 100V ● 単相3線式 200V		8. 配 線 器 具	● 電源方式 ● 照 光 式 ● 点 滅 式 ● 誘導音付加式		3. 電 気 方 式	● DC-24V ● AC-100V								
	③ 地 中 箱	(ア) 地中線保護方式 ● 液付硬質ポリエチレン管(難燃性) ● 厚鋼電線管		9. VVFケーブルの	(ア) 防水形、引掛形コンセントはプラグ付きとする。		4. 火 災 報 知 装 置	受 信 機 P 形 級 回 線 (● 壁掛形 ● 自立形)								
	4. 区 分 開 閉 器	(イ) 埋 設 深 さ 特記なきはGL-600mm以上とする。		ジョイントボックス	(イ) ハイテンションアウトレットはつぎによる。		5. 自 動 閉 鎖 装 置	副 受 信 機 ● 壁掛形(窓) ● 連動制御器など一体								
	5. 高 圧 ケーブルの端 末 処 理	● 舗装のある場合は路盤下-300mm以上とする。		⑩ 照 度 測 定	● 外部固定形 ● 内部固定形 ● 回転形又は上下動形 ●		6. 予 備 品	連動制御器 回線 (遠方復帰機構 回線)								
2 受 変 電 設 備	1. 工 事 範 囲	● 配 管 ● 配 線 ● 機器等取り付け ●	構内弱電線路設備	11. 予 備 品	● アウトレットボックス(中形、大形四角54ブランカカバー付き)	15	1. 工 事 範 囲	● 配 管 ● 配 線 ● 機器取付け ●	ガ ス 漏 れ 警 報 設 備	1. 工 事 範 囲	● 配 管 ● 配 線 ● 機器取付け ●					
	2. 電 気 方 式	高 圧 三 相 3 線 式 6,000V		① 施 工 方 法	● VVFケーブル用ジョイントボックス(中形、大形)		2. 施 工 方 法	● 金属管配線 ● ケーブル配線 ●								
	3. 仕 様 詳 細	低 圧 ● 三相3線式 200V ● 単相3線式 100/200V		② 施 工 方 法	● 測定する 一般照明 ● 居室(室) ● 体育館 ●		3. 電 工 方 式	● DC-24V ● AC-100V								
	4. 盤 内 取 ・ 付 け 装 置	● 単相2線式 100V ● 単相2線式 200V		3. ローテーション	● 非常照明 ● 居室 ● 廊下 ● 階段 ●		4. 受 信 機	回 線 (● LPGガス用 ● 都市ガス用)								
	5. キュービクル式配電盤	別図受変電設備仕様(図版 / から /)による。		4. 保 安 器 等 の 接 地	● 測定しない		5. 検 知 器	● 単 独 ● 壁 掛 形 ● 火災報知受信機など一体								
3 自 家 発 電 設 備	6. 予 備 品 等	● 変圧器の設置スペースは将来の増設を考慮し設計容量の1ランク上のスペースとする。	電 話 配 管 配 線	① 工 事 範 囲	● 直管蛍光灯(W 本)を納入する。	16	1. 工 事 範 囲	● 配 管 ● 配 線 ● 機器取付け ●	防 犯 設 備	1. 工 事 範 囲	● 配 管 ● 配 線 ● 機器取付け ●					
	1. 工 事 範 囲	● 変圧器の設置スペースは将来の増設を考慮し設計容量の1ランク上のスペースとする。		② 施 工 方 法	● コンパクト形ランプ(W 本)を納入する。		2. 施 工 方 法	● 金属管配線 ● ケーブル配線 ●								
	2. 電 気 方 式	● 盤内に取引用電力計、最大需要電力計を設ける配線並びに機器取付けスペースを設ける。		3. 規 時 計	● 配 管 ● 配 線 ● 接地工事 ●		3. 電 工 方 式	● AC-100V ● 予備電源(蓄電池)内蔵								
	3. 仕 様 詳 細	● 電力ヒューズを現用の規格、定格値のものを現用数納入する。		4. 予 備 品	● 幹 線 ● 金属管配線 ● ケーブル配線 ● VEP		4. 警 戒 方 式	● マグネットスイッチ ● 光 電 式 ● 電 波 式 ● 超音波式								
	4. 設 置 場 所 の 高 度	● 電力ヒューズを現用の規格、定格値のものを現用数納入する。		9 電 気 時 計 設 備	3. ローテーション		● 分 岐 ● 金属管配線 ● フロアダクト配線 ●	17		1. 電 気 方 式	● 単相2線式 100V ● 単相2線式 200V	外 灯 設 備	1. 電 気 方 式	● 単相2線式 100V ● 単相2線式 200V		
5. 天 井 走 行 装 置 等	● 電力ヒューズを現用の規格、定格値のものを現用数納入する。	4. 保 安 器 等 の 接 地	● 形 式 ● 平 型 ● 平型ボタン ● 亀 甲 型 ●		2. 施 工 方 法	(ア) 地中線保護方式 ● 液付硬質ポリエチレン管(難燃性) ● 厚鋼電線管										
6. 防 油 堤	● 電力ヒューズを現用の規格、定格値のものを現用数納入する。	10 拡 声 設 備	4. 保 安 器 等 の 接 地		● 取付け数(個) ● 納 入 数(個)	3. 電 工 方 式	(イ) 埋 設 深 さ 特記なきはGL-600mm以上とする。									
7. 竣 工 の 試 験	● 電力ヒューズを現用の規格、定格値のものを現用数納入する。		4. 保 安 器 等 の 接 地		● 本 工 事 (● 保安器用 ● 交換機用 ● 機 器 用)	4. 屋 外 灯	● 蛍 光 灯 ● 水銀ランプ ● ナトリウムランプ ●									
8. 予 備 品	● 電力ヒューズを現用の規格、定格値のものを現用数納入する。		電 気 時 計 設 備		4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事	5. 屋 外 灯 の 点 滅 方 式		● 自 動 (● タイマー ● 光電式自動点滅器) ● 手 動							
① 工 事 範 囲	● 配 管 ● 配 線 ● 機器等取り付け ●			11 表 示 設 備	4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事	6. 屋 外 灯 の 区 分 開 閉 器	● 自動一手動併用 (● タイマー ● 光電式自動点滅器 ● 両 用)								
② 電 気 方 式	三 相 3 線 式 ● 6,600V 60HZ ● 210V 60HZ				12 インターホン設備	4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事	18 避 雷 設 備	1. 工 事 範 囲	● 配 管 ● 配 線 ● 受雷部取付け ● 接地極埋設						
③ 施 工 方 法	別図自家発電設備仕様(図版 / から /)による。	13 電 気 時 計 設 備				4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事		2. 受 雷 部	● 突 針 ● 機 上 げ 導 体 ● 金属フェンス(別途)等						
④ 設 置 場 所 の 高 度	● 標高300mm以下 ● 標高300mmを超える					14 電 気 時 計 設 備	4. 保 安 器 等 の 接 地		● 別途工事	3. 避 雷 導 体	● 建築構造体利用 ● 引き下げ導体					
⑤ 天 井 走 行 装 置 等	● U 字 ボ ル ト (● 本 工 事 ● 建築工事)		15 電 気 時 計 設 備				4. 保 安 器 等 の 接 地		● 別途工事	4. 接 地 極	● 建築構造体利用(建築基礎等完了後構造体の接地抵抗を測定し、測定表を監督員に提出する)					
⑥ 防 油 堤	● I ビ ー ム (● 本 工 事 ● 建築工事)			16 電 気 時 計 設 備			4. 保 安 器 等 の 接 地		● 別途工事	19 電 気 時 計 設 備	19 電 気 時 計 設 備	19 電 気 時 計 設 備				
⑦ 竣 工 の 試 験	● チェンブロック (● 本 工 事 ● 建築工事)				17 電 気 時 計 設 備		4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事	20 電 気 時 計 設 備				20 電 気 時 計 設 備			
⑧ 予 備 品	● コンクリート製 ● 鋼 板 製 (● 本 工 事 ● 建築工事)	18 電 気 時 計 設 備					4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事						21 電 気 時 計 設 備	21 電 気 時 計 設 備	
⑨ 電 気 時 計 設 備	● 電気設備工事共通仕様の竣工の試験のうち、2. 4. 2 の (3) は工場試験成績書による。					19 電 気 時 計 設 備	4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事								22 電 気 時 計 設 備
⑩ 機 器 設 置 後 に 行 う 総 合 試 験 の 実 負 荷 試 験 は 、 当 該 負 荷 設 備 を 2 時 間 以 上 の 試 験 運 転 と す る 。	20 電 気 時 計 設 備		4. 保 安 器 等 の 接 地				● 別途工事	23 電 気 時 計 設 備								
予 備 品 、 付 属 品 は 製 造 業 者 の 標 準 品 と す る 。			21 電 気 時 計 設 備	4. 保 安 器 等 の 接 地			● 別途工事			24 電 気 時 計 設 備	24 電 気 時 計 設 備					
(受 1.6.7)				22 電 気 時 計 設 備	4. 保 安 器 等 の 接 地		● 別途工事		25 電 気 時 計 設 備			25 電 気 時 計 設 備				
予 備 品 、 付 属 品 は 製 造 業 者 の 標 準 品 と す る 。		23 電 気 時 計 設 備			4. 保 安 器 等 の 接 地		● 別途工事						26 電 気 時 計 設 備	26 電 気 時 計 設 備		
(発 1.2.3)					24 電 気 時 計 設 備	4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事								27 電 気 時 計 設 備	27 電 気 時 計 設 備
① 配 管 ● 配 線 ● 機器取付け ●	25 電 気 時 計 設 備					4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事	28 電 気 時 計 設 備								
② 電 気 方 式			26 電 気 時 計 設 備			4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事			29 電 気 時 計 設 備	29 電 気 時 計 設 備					
③ 施 工 方 法				27 電 気 時 計 設 備		4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事		30 電 気 時 計 設 備			30 電 気 時 計 設 備				
④ 設 置 場 所 の 高 度		28 電 気 時 計 設 備				4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事						31 電 気 時 計 設 備	31 電 気 時 計 設 備		
⑤ 天 井 走 行 装 置 等					29 電 気 時 計 設 備	4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事								32 電 気 時 計 設 備	32 電 気 時 計 設 備
⑥ 防 油 堤	30 電 気 時 計 設 備					4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事	33 電 気 時 計 設 備								
⑦ 竣 工 の 試 験			31 電 気 時 計 設 備			4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事			34 電 気 時 計 設 備	34 電 気 時 計 設 備					
⑧ 予 備 品				32 電 気 時 計 設 備		4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事		35 電 気 時 計 設 備			35 電 気 時 計 設 備				
⑨ 電 気 時 計 設 備		33 電 気 時 計 設 備				4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事						36 電 気 時 計 設 備	36 電 気 時 計 設 備		
⑩ 機 器 設 置 後 に 行 う 総 合 試 験 の 実 負 荷 試 験 は 、 当 該 負 荷 設 備 を 2 時 間 以 上 の 試 験 運 転 と す る 。					34 電 気 時 計 設 備	4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事								37 電 気 時 計 設 備	37 電 気 時 計 設 備
予 備 品 、 付 属 品 は 製 造 業 者 の 標 準 品 と す る 。	35 電 気 時 計 設 備					4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事	38 電 気 時 計 設 備								
(発 1.2.3)			36 電 気 時 計 設 備			4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事			39 電 気 時 計 設 備	39 電 気 時 計 設 備					
① 配 管 ● 配 線 ● 機器取付け ●				37 電 気 時 計 設 備		4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事		40 電 気 時 計 設 備			40 電 気 時 計 設 備				
② 電 気 方 式		38 電 気 時 計 設 備				4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事						41 電 気 時 計 設 備	41 電 気 時 計 設 備		
③ 施 工 方 法					39 電 気 時 計 設 備	4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事								42 電 気 時 計 設 備	42 電 気 時 計 設 備
④ 設 置 場 所 の 高 度	40 電 気 時 計 設 備					4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事	43 電 気 時 計 設 備								
⑤ 天 井 走 行 装 置 等			41 電 気 時 計 設 備			4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事			44 電 気 時 計 設 備	44 電 気 時 計 設 備					
⑥ 防 油 堤				42 電 気 時 計 設 備		4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事		45 電 気 時 計 設 備			45 電 気 時 計 設 備				
⑦ 竣 工 の 試 験		43 電 気 時 計 設 備				4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事						46 電 気 時 計 設 備	46 電 気 時 計 設 備		
⑧ 予 備 品					44 電 気 時 計 設 備	4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事								47 電 気 時 計 設 備	47 電 気 時 計 設 備
⑨ 電 気 時 計 設 備	45 電 気 時 計 設 備					4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事	48 電 気 時 計 設 備								
⑩ 機 器 設 置 後 に 行 う 総 合 試 験 の 実 負 荷 試 験 は 、 当 該 負 荷 設 備 を 2 時 間 以 上 の 試 験 運 転 と す る 。			46 電 気 時 計 設 備			4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事			49 電 気 時 計 設 備	49 電 気 時 計 設 備					
予 備 品 、 付 属 品 は 製 造 業 者 の 標 準 品 と す る 。				47 電 気 時 計 設 備		4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事		50 電 気 時 計 設 備			50 電 気 時 計 設 備				
(発 1.2.3)		48 電 気 時 計 設 備				4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事						51 電 気 時 計 設 備	51 電 気 時 計 設 備		
① 配 管 ● 配 線 ● 機器取付け ●					49 電 気 時 計 設 備	4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事								52 電 気 時 計 設 備	52 電 気 時 計 設 備
② 電 気 方 式	50 電 気 時 計 設 備					4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事	53 電 気 時 計 設 備								
③ 施 工 方 法			51 電 気 時 計 設 備			4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事			54 電 気 時 計 設 備	54 電 気 時 計 設 備					
④ 設 置 場 所 の 高 度				52 電 気 時 計 設 備		4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事		55 電 気 時 計 設 備			55 電 気 時 計 設 備				
⑤ 天 井 走 行 装 置 等		53 電 気 時 計 設 備				4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事						56 電 気 時 計 設 備	56 電 気 時 計 設 備		
⑥ 防 油 堤					54 電 気 時 計 設 備	4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事								57 電 気 時 計 設 備	57 電 気 時 計 設 備
⑦ 竣 工 の 試 験	55 電 気 時 計 設 備					4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事	58 電 気 時 計 設 備								
⑧ 予 備 品			56 電 気 時 計 設 備			4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事			59 電 気 時 計 設 備	59 電 気 時 計 設 備					
⑨ 電 気 時 計 設 備				57 電 気 時 計 設 備		4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事		60 電 気 時 計 設 備			60 電 気 時 計 設 備				
⑩ 機 器 設 置 後 に 行 う 総 合 試 験 の 実 負 荷 試 験 は 、 当 該 負 荷 設 備 を 2 時 間 以 上 の 試 験 運 転 と す る 。		58 電 気 時 計 設 備				4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事						61 電 気 時 計 設 備	61 電 気 時 計 設 備		
予 備 品 、 付 属 品 は 製 造 業 者 の 標 準 品 と す る 。					59 電 気 時 計 設 備	4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事								62 電 気 時 計 設 備	62 電 気 時 計 設 備
(発 1.2.3)	60 電 気 時 計 設 備					4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事	63 電 気 時 計 設 備								
① 配 管 ● 配 線 ● 機器取付け ●			61 電 気 時 計 設 備			4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事			64 電 気 時 計 設 備	64 電 気 時 計 設 備					
② 電 気 方 式				62 電 気 時 計 設 備		4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事		65 電 気 時 計 設 備			65 電 気 時 計 設 備				
③ 施 工 方 法		63 電 気 時 計 設 備				4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事						66 電 気 時 計 設 備	66 電 気 時 計 設 備		
④ 設 置 場 所 の 高 度					64 電 気 時 計 設 備	4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事								67 電 気 時 計 設 備	67 電 気 時 計 設 備
⑤ 天 井 走 行 装 置 等	65 電 気 時 計 設 備					4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事	68 電 気 時 計 設 備								
⑥ 防 油 堤			66 電 気 時 計 設 備			4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事			69 電 気 時 計 設 備	69 電 気 時 計 設 備					
⑦ 竣 工 の 試 験				67 電 気 時 計 設 備		4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事		70 電 気 時 計 設 備			70 電 気 時 計 設 備				
⑧ 予 備 品		68 電 気 時 計 設 備				4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事						71 電 気 時 計 設 備	71 電 気 時 計 設 備		
⑨ 電 気 時 計 設 備					69 電 気 時 計 設 備	4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事								72 電 気 時 計 設 備	72 電 気 時 計 設 備
⑩ 機 器 設 置 後 に 行 う 総 合 試 験 の 実 負 荷 試 験 は 、 当 該 負 荷 設 備 を 2 時 間 以 上 の 試 験 運 転 と す る 。	70 電 気 時 計 設 備					4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事	73 電 気 時 計 設 備								
予 備 品 、 付 属 品 は 製 造 業 者 の 標 準 品 と す る 。			71 電 気 時 計 設 備			4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事			74 電 気 時 計 設 備	74 電 気 時 計 設 備					
(発 1.2.3)				72 電 気 時 計 設 備		4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事		75 電 気 時 計 設 備			75 電 気 時 計 設 備				
① 配 管 ● 配 線 ● 機器取付け ●		73 電 気 時 計 設 備				4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事						76 電 気 時 計 設 備	76 電 気 時 計 設 備		
② 電 気 方 式					74 電 気 時 計 設 備	4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事								77 電 気 時 計 設 備	77 電 気 時 計 設 備
③ 施 工 方 法	75 電 気 時 計 設 備					4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事	78 電 気 時 計 設 備								
④ 設 置 場 所 の 高 度			76 電 気 時 計 設 備			4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事			79 電 気 時 計 設 備	79 電 気 時 計 設 備					
⑤ 天 井 走 行 装 置 等				77 電 気 時 計 設 備		4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事		80 電 気 時 計 設 備			80 電 気 時 計 設 備				
⑥ 防 油 堤		78 電 気 時 計 設 備				4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事						81 電 気 時 計 設 備	81 電 気 時 計 設 備		
⑦ 竣 工 の 試 験					79 電 気 時 計 設 備	4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事								82 電 気 時 計 設 備	82 電 気 時 計 設 備
⑧ 予 備 品	80 電 気 時 計 設 備					4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事	83 電 気 時 計 設 備								
⑨ 電 気 時 計 設 備			81 電 気 時 計 設 備			4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事			84 電 気 時 計 設 備	84 電 気 時 計 設 備					
⑩ 機 器 設 置 後 に 行 う 総 合 試 験 の 実 負 荷 試 験 は 、 当 該 負 荷 設 備 を 2 時 間 以 上 の 試 験 運 転 と す る 。				82 電 気 時 計 設 備		4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事		85 電 気 時 計 設 備			85 電 気 時 計 設 備				
予 備 品 、 付 属 品 は 製 造 業 者 の 標 準 品 と す る 。		83 電 気 時 計 設 備				4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事						86 電 気 時 計 設 備	86 電 気 時 計 設 備		
(発 1.2.3)					84 電 気 時 計 設 備	4. 保 安 器 等 の 接 地	● 別途工事								87 電 気 時 計 設 備	87 電 気 時 計 設 備
① 配 管 ● 配																

〔Ⅲ〕設備機材等指定表

この工事に使用する設備機材は、JIS規格品、国家検定を要するものは検定品とする。また、製造業者を指定したものは指定業者の製品、または同等品以上とする。

(順序不同)

分 類	機 材 名	適 用 範 囲	製 造 業 者 名
電 線 管 類 同 上 付 属 品	金 属 管	一般配線工事に使用するもの。	JISマーク表示品
	金 属 管 の 付 属 品	＊	JISマーク表示品
	合 成 樹 脂 管	＊	JISマーク表示品
	合 成 樹 脂 管 の 付 属 品	＊	JISマーク表示品
	金 属 線 び 及 び 付 属 品	＊	乙種電気用品マーク表示品
	可 と う 電 線 管	＊	JISマーク表示品
	可とう電線管の付属品	＊	JISマーク表示品
管 類 (ケーブル等保護管)	フロアダクト及び付属品		JISマーク表示品
	鋼 管		JISマーク表示品
	ビ ニ ル 管		JISマーク表示品
	波付硬質ポリエチレン管	JIS C 3653付属書の1による	
電 線 ・ ケーブル 同 上 付 属 品	I V ・ V V ・ O W	一般配線工事に使用するもの。	JISマーク表示品
	D V ・ 硬銅線・軟銅線		ただし、VVF○○○-4Cは除く
	耐 火 ケーブル	＊	耐火、耐熱電線認定業務委員会の認定(JCM Aマーク)を受けているもの。
	耐 熱 ケーブル	＊	
	通 信 用 ケーブル	＊	JCSマーク表示品
	ビ ニ ル テープ	＊	JISマーク表示品
	圧 着 端 子	＊	JISマーク表示品
	圧 着 ス リ ー プ	＊	JISマーク表示品
計器類・保護継電器	ライティングダクト	＊	JISマーク表示品
	指 示 計 器	JIS C1102(指示電気計器)に適合するもの。	JISマーク表示品
	保 護 継 電 器		㈱高岳製作所・立石電機㈱・㈱東 芝・日新電機㈱・光商工㈱・㈱日立製作所・富士電機㈱・三菱電機㈱・㈱明電舎
遮断器・開閉器類	高 圧 交 流 遮 断 器		㈱高岳製作所・㈱東 芝・日新電機㈱・㈱日立製作所・富士電機㈱・三菱電機㈱・㈱明電舎
	配線用遮断器・漏電遮断器		JISマーク表示品
	高 圧 限 流 ヒューズ		エナジーサポート㈱・㈱東 芝・㈱日立製作所・富士電機㈱・三菱電機㈱・
	高 圧 負 荷 開 閉 器 (区分開閉器)		エナジーサポート㈱・㈱戸上電機製作所・㈱東 芝・富士電機㈱・三菱電機㈱
変 圧 器	電力用高低圧変圧器	油入変圧器 モールド変圧器	㈱高岳製作所・㈱ダイヘン・㈱東 芝・日新電機㈱・㈱日立製作所・富士電機㈱・松下電器産業㈱・三菱電機㈱・㈱明電舎
連 相 コ ン デ ン サ	高 圧 連 相 コ ン デ ン サ		㈱東 芝・日新電機㈱・ニチコン㈱・松下電器産業㈱・三菱電機㈱
	低 圧 連 相 コ ン デ ン サ		JISマーク表示品
自 家 発 電 設 備	自 家 発 電 装 置	付属する配電盤及び電源装置を含む。	(㊫)日本内燃力発電設備協会の認定証票が貼付されたもの。
配 線 器 具 類	スイッチ・コンセント・プラグ等配線器具類	一般配線工事に使用するもの。	JISマーク表示品
	自 動 点 滅 器	＊	JISマーク表示品
防 災 用 照 明 器 具	非 常 用 照 明 器 具		㈱日本建築センターの性能評定マークが貼付されたもの。
	誘 導 灯 器 具		誘導灯認定委員会の認定証票が貼付されたもの。
照 明 器 具	蛍 光 灯 器 具 H I D 灯 白 熱 灯	屋内、屋外の一般照明用	岩崎電気㈱・大光電機㈱・東芝ライテック㈱ 松下電工㈱・山田照明㈱・日本電池㈱
安 定 器 ・ ラ ンプ 類	蛍 光 灯 安 定 器	屋内、屋外の一般照明用器具に使用するもの。	JISマーク表示品
	蛍 光 ラ ンプ 白 熱 電 球 ボ ー ル 電 球		
電 話 交 換 装 置	交換機・局線中継台 電源装置・ボタン電話 電 話 機	㈱電気通信端末機器審査協会の認定を受けている旨の表示をしたもので、右の製造業者とする。	岩崎通信㈱・沖電気工業㈱・大興電機・日本電気㈱・N T T ・㈱日立製作所・富士通㈱

電 気 時 計	親 時 計 ・ 子 時 計 電源装置・電子式チャイム		㈱TIC-CITIZEN・㈱服部セイコー 松下電工㈱
拡 声 装 置	ホ ー ン ス ピ ー カ		JISマーク表示品
非 常 放 送 装 置	増 幅 器 ・ 操 作 装 置 スピーカ・遠隔操作器 非 常 電 話 機(親・子)		非常用放送設備委員会の基準適合ラベルが貼付されたもの。(㊫)日本電子機械工業会)
非 常 警 報 装 置 (非常ベル)	非常ベル・起動装置 表示灯・操作装置 一体形及び複合装置		非常警報設備認定業務委員会の認定証票が貼付されたもの。(㊫)日本火災報知工業会)
インターホン装置	親機・子機・電源装置		㈱アイホン・㈱ケアコム・㈱東 芝・日本インターホン㈱・松下電器産業㈱
テレビ共同受信装置	アンテナ・増幅器 分岐器・分配器 直列ユニット・混合器	建設大臣認定優良住宅部品(BL部品)の規格品とする。	DXアンテナ㈱・日本アンテナ㈱・マスプロ電工㈱・八木アンテナ㈱
火 災 報 知 装 置	受 信 機 ・ 発 信 機 感 知 器		日本消防検定協会の検定合格証票が貼付されたもの。
自 動 開 鎖 装 置 (自動開鎖機構)	連 動 制 御 器 自 動 開 鎖 装 置		㈱日本建築センターの性能評定マークが貼付されたもの。
ガス漏れ警報装置	受 信 機 ・ 中 継 機		日本消防検定協会又は高圧ガス保安協会の検定合格証票が貼付されたもの。
	検 知 器		㈱日本ガス機器検定協会の合格証票又は、高圧ガス保安協会の検定合格証票が貼付されたもの。
直 流 電 源 装 置	蓄 電 池	建築基準法用及び消防法用使用する別置用のもの。	蓄電池設備認定委員会の認定証票が貼付されたもの。(㊫)日本蓄電池工業会)
	整 流 装 置	建築基準法用及び消防法用使用する別置用のものは、蓄電池設備認定委員会の認定証票が貼付されたもので、かつ、右の製造業者とする。	新神戸電機㈱・日本電池㈱・古河電池㈱・松下電器産業㈱・㈱明電舎・湯浅電池㈱
盤 類	高 圧 開 鎖 配 電 盤	JEM1425F金属閉鎖形…(キュービクル形、メタルクラド形、コンパートメント形)	㈱愛知電機製作所・川崎電気㈱・明電舎㈱ ㈱正典電機製作所・中立電機㈱・三菱電機㈱ ㈱東 芝・日新電機㈱・㈱日立製作所
	キュービクル式配電盤	JIS C 4620Fキュービクル式高圧受電設備」で公称電圧6.6KV、定格遮断電流12.5KA以下	上記製造業者の他 ㈱永井電機製作所・㈱増岡電機
	低 圧 分 電 盤 低 圧 制 御 盤 端子盤・機器収納箱等		上記製造業者の他 小林制電㈱・㈱サンデン・ ㈱タイセイ電機
電 柱	コ ン ク リ ー ト 柱		JIS マーク表示品
ブロッコハンドホール			
鉄 蓋			㈱土井製作所・二宮産業㈱・ 福西鋳物㈱・㈱小島製作所

注記 1. 表中適用範囲の欄の「一般配線工事に使用するもの」とは、機器に付属する電線を除いた一般配線工事に使用するものをいう。

〔Ⅳ〕そ の 他

1. 機器取付け高さ標準

機器の取付け高さは図面に明記されたものを除き、原則として下記を標準とする。ただし、監督員と協議により変更することができる。

	名 称	測 点	取付け高さ (mm)		名 称	測 点	取付け高さ (mm)	
電力 共通	取 引 計 器	地上～検針窓中心	1,800～2,000	表	表 示 盤	天井下～上端	200	
	引 込 開 閉 器	床 上～中 心	1,800		壁 付 発 信 器	床 上～中 心	1,200～1,300	
					ベル・ブザー・チャイム	＊	2,300	
電				示	壁 付 押 ボ タ ン	＊	1,200～1,300	
	分 電 盤	床 上～中 心	1.5M (上端1.9以下)		電 源 箱	床 上～下 端	300	
	ス イ ッ チ	＊	1,200～1,300					
	＊ (身障用)	＊	900～1,100					
	コ ン セ ン ト	＊	300	イ ン タ ー ホ ン	壁付インターホン	床 上～中 心	1,200～1,500	
	＊ (和室)	＊	150～200		＊ (身障者)	＊	1,000～1,100	
	＊ (土間)	＊	500～1,300		壁付位置ボックス	＊	300	
	＊ (台上)	台 上～中 心	150		＊ (和室)	＊	150	
ブ ラ ケ ッ ト	床 上～中 心	2,100～2,300	押 ボ タ ン		＊	1,200～1,300		
灯	＊ (踊場)	＊	2,000～2,500	＊ (身障者)	＊	900		
	＊ (鏡上)	＊	150					
	動 力	壁掛形制御盤	床 上～中 心	1.5M (上端1.9以下)	テ レ ビ 共 同 受 信	機 器 収 納 箱	天井下～上端	200
		手 元 開 閉 器	＊	1,300～1,500		直 列 ユ ニ ッ ト	床 上～中 心	300
		操 作 ス イ ッ チ	＊	1,300		＊ (和室)	＊	150～200
	電 話				分 配 器 箱	床 上～下 端	300	
端 子 盤		床 上～下 端	300					
保 安 器 箱		天井下～上端	200	火 災 報 知	受信機・副受信機	床 上～中 心	1,500	
壁付位置ボックス		床 上～中 心	300		機 器 収 納 箱	＊	1,200～1,500	
＊ (和室)		＊	150～200		発 信 器	＊	1,200～1,500	
			ベ ル		＊	2,300		
			表 示 灯		＊	2,100		
時 計・ 拡 声	壁掛形親時計	床 上～中 心	1.5M (上端1.9以下)	ガ ス 検 知				
	子 時 計	天井下～上端	200		ガス漏れ中継器	天井下～中心	300	
	壁掛形スピーカ	＊	150		検 知 器(都市ガス)	天井下～下端	300	
	壁付アッテネータ	床 上～中心	1,200～1,300		＊ (LPガス)	床 上～上 端	300	

2. 配線用図記号

配線用図記号はJIS C-0303-(84)による。ただし、これによりがたい場合は凡例による。

*図中の配線で寸法等の記入のないものは下記の記号による。

(ア)配線区分

天井隠蔽配線 ————— 床隠蔽配線 —————
露出配線 - - - - - 床露出配線 - - - - -
地中埋設配線 —————

(イ)VV-Fケーブルの区別

VVF1.6-2C ——— Fa ——— VVF1.6-3C ——— Fa ———
VVF1.6-2C×2 ——— Fa ——— VVF1.6-2C+1.6-3C ——— Fa ———
VVF1.6-3C×2 ——— Fa ———

*配線がVVF 2.0mのみの場合は上記に準じる。

(ウ)配管種別

(19) (25) (31) …………… は薄鋼電線管を示す。
(E 19) (E 25) (E 31) …………… はねじなし薄鋼電線管を示す。
(14) (16) (22) …………… は合成樹脂電線管を示す。
((16)) ((22)) …………… は厚鋼電線管を示す。

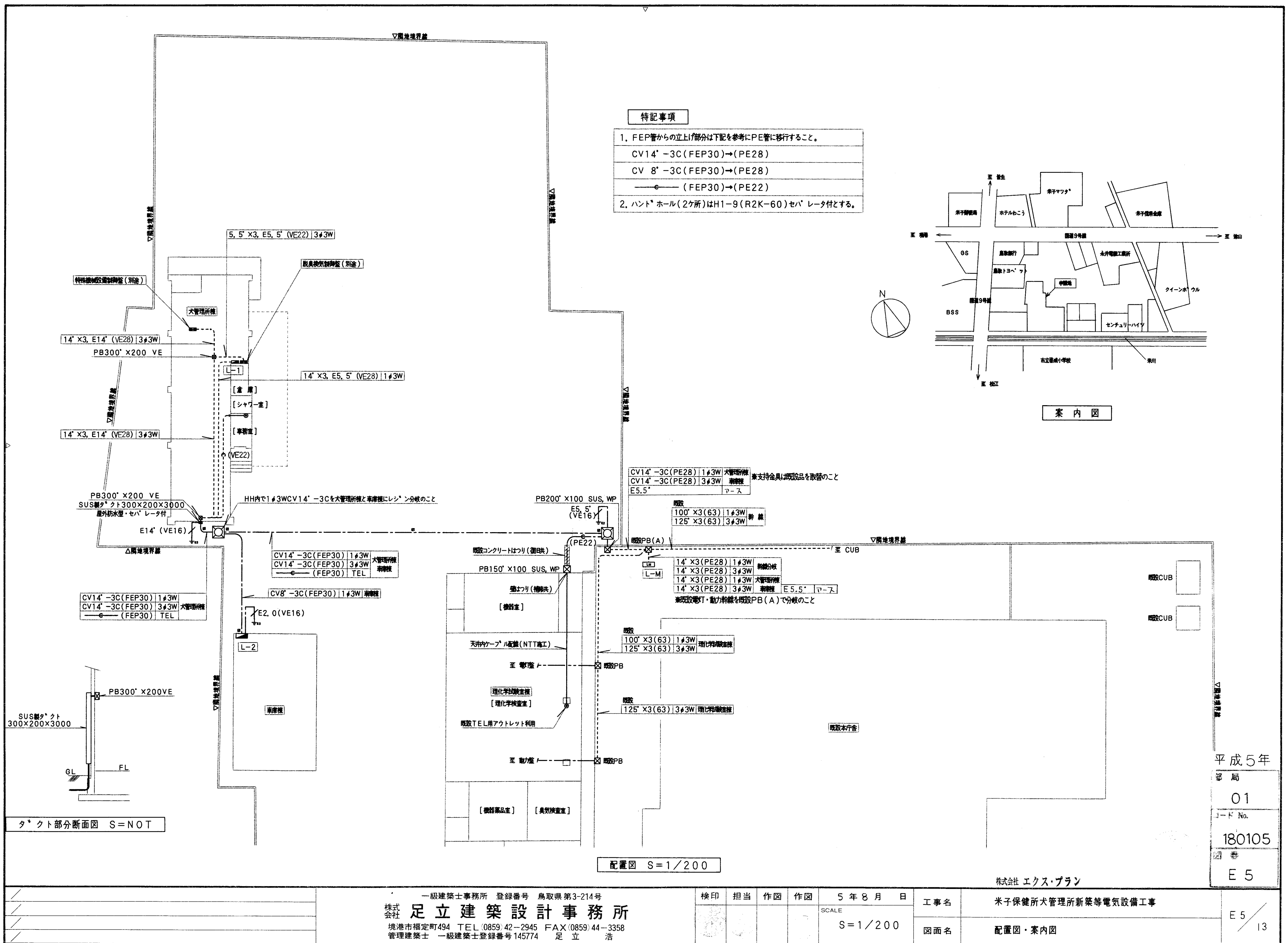
*ケーブル保護管(PE管、FEP管等)の種別は図示にて明示する。

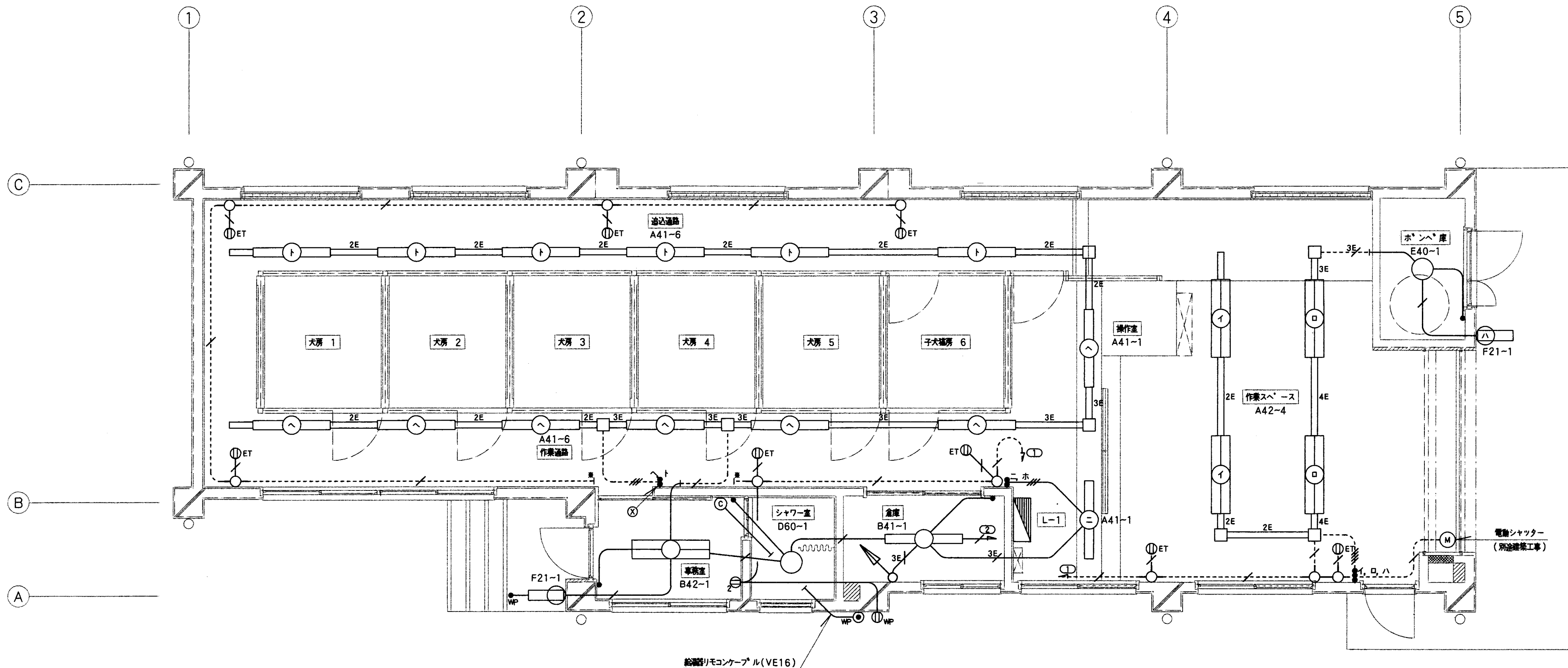
3. そ の 他

1. 工事のため送電線及び配電線の近くで作業するときは、事前に中国電力に連絡し事故防止に努めること。
- 2.

株式会社 エクス・プラン

／	一級建築士事務所 登録番号 鳥取県第3-214号	検印	担当	作図	作図	5 年 8 月 日	工事名	米子保健所犬管理所新築等電気設備工事	E 4
／	株式会社 足立建築設計事務所					SCALE			／ 13
／	境港市福定町494 TEL (0859) 42-2945 FAX (0859) 44-3358					—	図面名	特記仕様書(3)	
／	管理建築士 一級建築士登録番号145774 足立 浩								



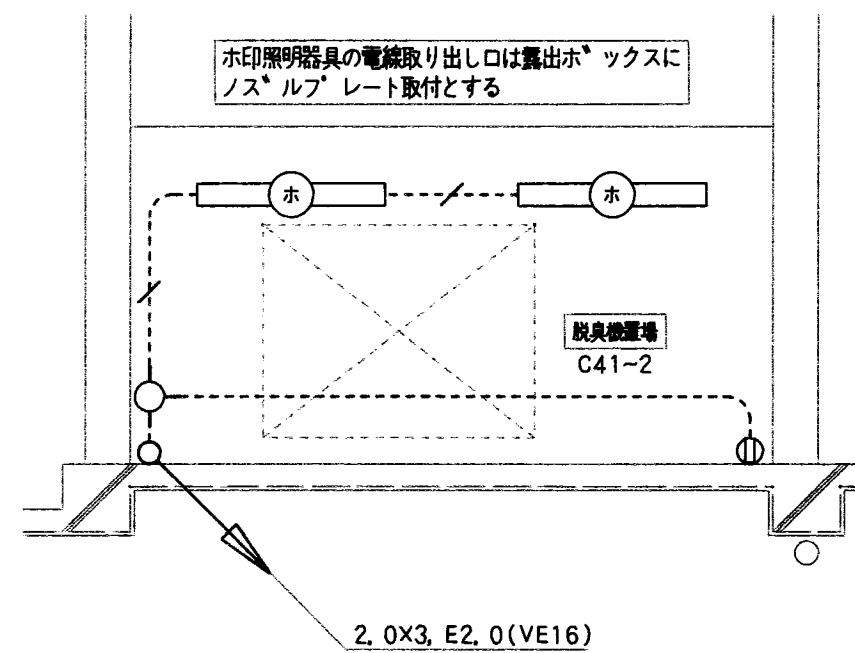


特記事項

- 図中指示なき配管配線は下記による。

2. 0x2 (VE16)
2. 0x2, E2, 0 (VE16)
2. 0x3 (VE16)
2. 0x3, E2, 0 (VE16)
2. 0x4 (VE16)
2. 0x2, E2, 0 (DP-1)
2. 0x3, E2, 0 (DP-1)
2. 0x4, E2, 0 (DP-1)
- スイッチはネーム付スイッチとする。
- 事務室以外のコンセントはFL+1500に取付のこと。
- レースウェイは溶融亜鉛メッキ（塗付）とし、支持間隔は1.5m以下とする。
- 吊りホルト等支持金具はSUS製とする。
- 給湯器リモコンケーブルは機械設備支給品とする。（入線・接続は本工事）
- X印のスイッチは壁面立下げ部分を隠蔽とし埋込スイッチとする。
- 作業スペース内のスイッチ、コンセントは露出ボックス取付とする。
- 追込及び作業通路のコンセントは露出丸ボックス以後を壁内隠蔽とし埋込取付とする。
- 電動シャッターの操作スイッチは建築設備工事とする。

犬管理所棟 平面図 S=1/50



脱臭機置場 平面図 S=1/50

凡例

記号	名称	備考
□	シヤンクシヨホックス	レースウェイ (DP-1) 用
○	給湯器コントローラ	機械設備支給品
◎WP	防雨入線カバー	給湯器リモコンケーブル用
M	電動シャッター	機械設備工事 (0.125KW)

平成5年

部局

01

コード No.

180105

図巻

E 6

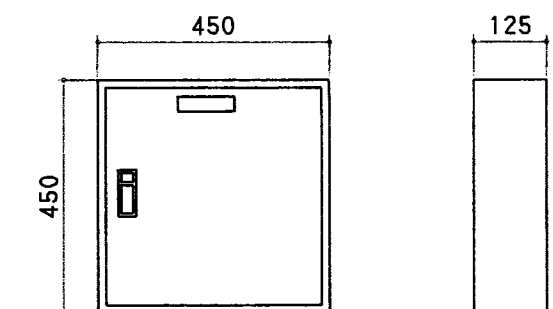
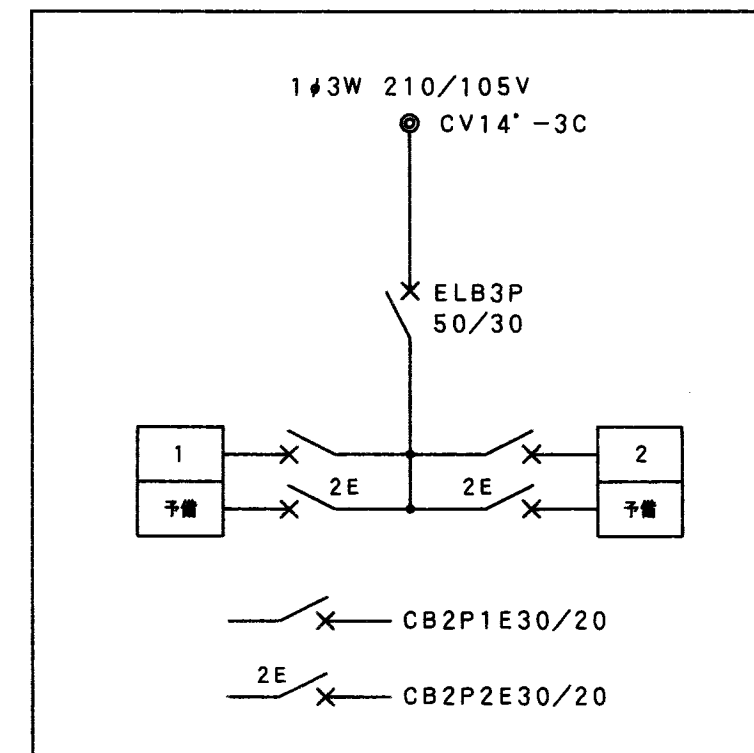
株式会社 エクス・プラン

検印	担当	作図	作図	5 年 8 月 日	工事名	米子保健所犬管理所新築等電気設備工事
				SCALE S=1/50	図面名	電灯設備 (犬管理所棟)

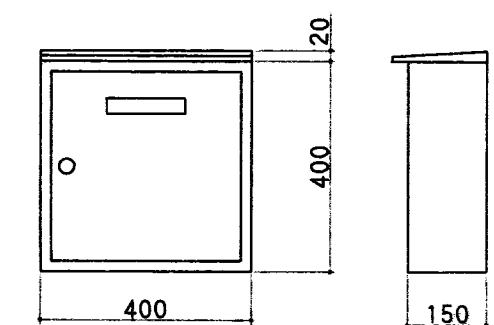
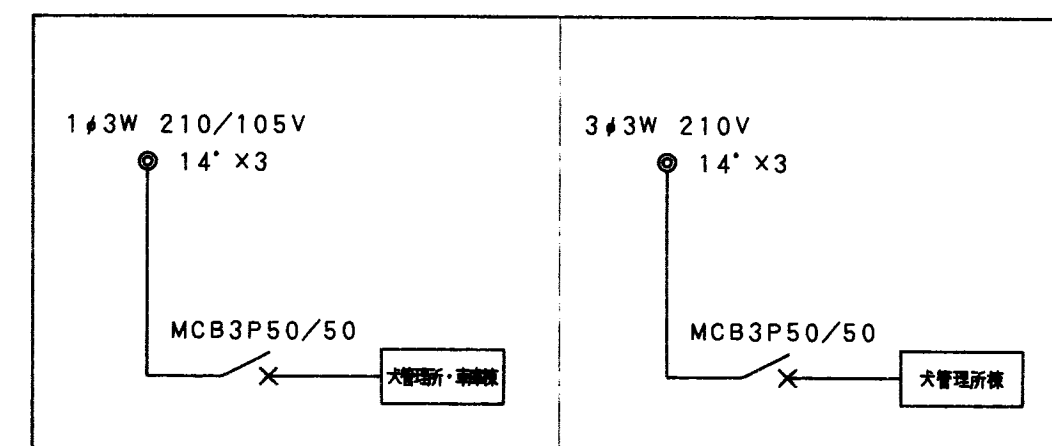
E 6 / 13

一級建築士事務所 登録番号 鳥取県第3-214号
 株式会社 足立建築設計事務所
 境港市福定町494 TEL (0859) 42-2945 FAX (0859) 44-3358
 管理建築士 一級建築士登録番号 145774 足立 浩

A41 A42	反射笠 反射笠	FL40WX1 FL40WX2	B41 B42	V型 V型	FL40WX1 FL40WX2	C41	反射笠	FL40WX1
FSR1MPA			FSS4			(FSR1MPA-401)		
備考：防湿型、ステンレス製			備考：			備考：防湿型、ステンレス製、チェーン吊り		
D60	シーリングライト		IL60WX1	E40	シーリングライト	IL40WX1	F21	ウォールライト
乳白ガラス ISC2-40			ISC2-40			FBC1RP-201		
備考：防湿・防雨型			備考：			備考：防雨型		

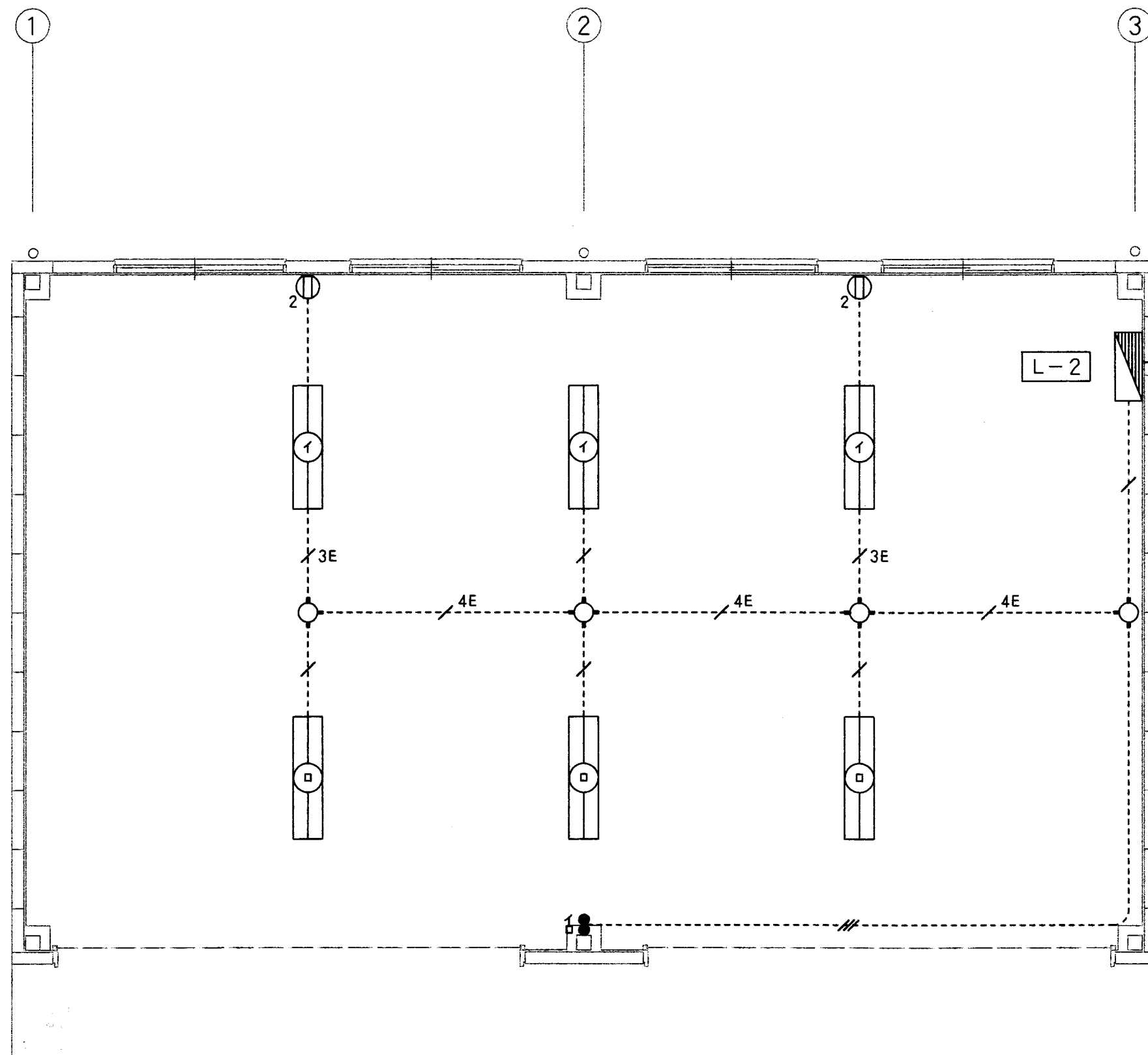


屋内露出型
鋼板製（市販品）
盤の寸法は参考寸法とする

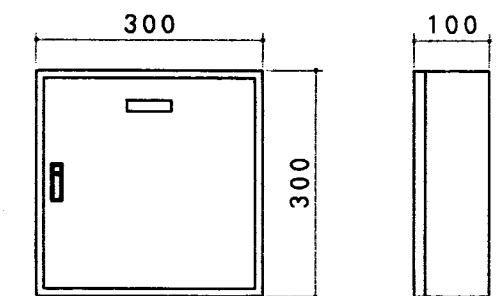
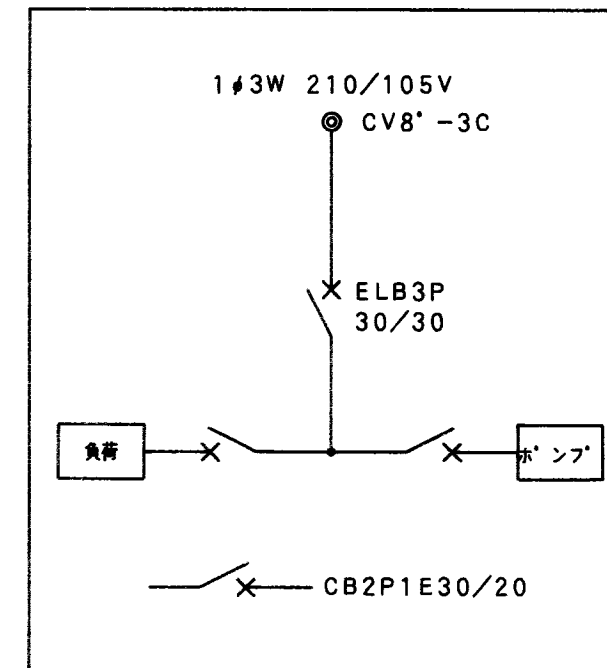


屋外露出・防水型（鍍付）
SUS304製
盤の寸法は参考寸法とする

郵局
01
コード No.
180105
四番
E 7



車庫棟 平面図 S=1/50



電灯分電盤 L-2
屋内露出型
鋼板製
盤の寸法は参考寸法とする



特記事項		
1. 図中指示なき配管配線は下記による。		
-----	2, 0X2	(E19)
-----/-----	2, 0X2, E2, 0(E19)	
-----//-----	2, 0X3	(E19)
-----/3E-----	2, 0X3, E2, 0(E25)	
-----/4E-----	2, 0X4, E2, 0(E25)	
2. スイッチはネーム付スイッチとする。		
3. コンセント取付位置はFL+1000とする。		

平成5年
部 局
01
コード No.
180105
図 番
E 8

株式会社 エクス・プラン

/	一級建築士事務所 登録番号 鳥取県 第3-214号				換印	担当	作図	作図	5 年 8 月 日	工 事 名	米子保健所犬管理所新築等電気設備工事	E 8 / 13
/	株式会社 足立 建築 設計 事務所								SCALE		図 面 名	
/	境港市福定町494 TEL (0859) 42-2945 FAX (0859) 44-3358								S = 1 / 50			
/	管理建築士 一級建築士登録番号 145774 足 立 浩											

特殊機械設備
工事仕様書

(I) 工事概要

1. 工事場所 米子市 西福原
2. 建物概要 構造 R C I 階 延べ面積 120.48㎡
3. 工事種目

- (1) 犬舎等機械設備(建築工事)
(1-1) 犬房機械設備
(1-2) 子犬・箱室
(2) 追込装置機械設備(建築工事)
(2-1) 追込装置
(3) 安楽死処分設備(電気設備工事)
(3-1) 安楽死処分装置
(4) 電気計装設備(電気設備工事)
(4-1) 電気計装設備
(5) 脱臭機械設備(機械設備工事)
(5-1) 脱臭装置
(5-2) 付帯装置・ダクト工事

4. 適用法規

- ・動物の保護及び管理に関する法律、同 鳥取県条例
・狂犬病予防法
・労働安全衛生法、高圧ガス取締法、公害防止法

(II) 工事仕様

1. 共通仕様 (1) 図面、特記仕様書及び現場説明書に記載されていない事項は下記による。

建設大臣官庁官庁営繕部監修
機械設備工事共通仕様書、同 標準図(平成元年版)
電気設備工事共通仕様書、同 標準図(平成元年版)

- (2) 運転指導 工事完成後請負者による運転指導を行う。

2. 設備概要

- (3) 安楽死処分設備
(3-1) 安楽死処分装置 1式
①構造

炭酸ガスによる全自動式であり処分機本体は無理なく自然に歩行させて収容する水平収容型で、後方から反転排出をおこなう方式である。また、反転排出時の作業性のために本体を500～1000ミリ原点から上昇させる。これらの動作は油圧にて行う。処分機本体の構造は箱型2重構造気密室、入口扉は巻込み防止ローラー装備両側面板付き、機内照明灯、サイトグラス付き。

②本体部材・材質

□50×t1.5, □41×t1.5, □75×t2,
⊃1.5, t1.0, t2.0
(以上全SUS304)
ベース部、油圧リフト部、駆動部部品(SS400, S25C
S35C)

③付属品

油圧装置(ポンプ、自動弁ユニット) 3.7Kw 1台
内蔵油圧配管、機器 1式
内蔵炭酸ガス配管、ベントパイプ装置、バランスファン 1式
排気ファン 0.3Kw 1台
炭酸ガス供給装置 1式
・ポンベ集合装置 2本×1系列(架台SS400)1組
(30～35kgポンベはガス納入業者の貸与品)
・ガストレージタンク(1000ℓ)(SS400)1基
第2種圧力容器検定合格品 安全弁9.5kg/㎤
・ガス用弁、自動弁(BC, BsBM, SUS304)1式
・ガス配管(高圧側75kg/㎤, 低圧側7kg/㎤) 1式
高圧部 連結ホース、集合管SUS304/BsBM
ガス圧調整器(圧力計、フィルター付)BsBM/SUS304
低圧部 SGP(白) 15A, ネジ継手、管支持材SS400

(4) 電気計装設備(電気設備工事)

(4-1) 電気計装設備

- (4-1-1) 制御盤・計装 1面

①寸法等

自立型 1000×H1400×D250, SS400
ベース 1000×H400×D250, SS400
コントロールデッキ 1200×H550 SS400
作業スペースに設け制御盤を設置する。

床は取り外し式とし、床下に油圧装置を据え付ける。

②制御・計装

制御回路 プログラマブルコントローラ
位置決めセンサ フェンス系 光学式(パルス)センサ
処分機系 磁気近接スイッチ式 及び
リミットスイッチ式センサ

ガス量制御 圧力スイッチ式

(4-1-2) 電気配線工事

電線 JIS C3307 600Vビニル電線(IV)
電線管 JIS C8430 VE管
プルボックス 硬質塩ビ
電動機の接続 プリカチューブによる。
センサの接続 センサ付リード線による。
全て露出配線とする。

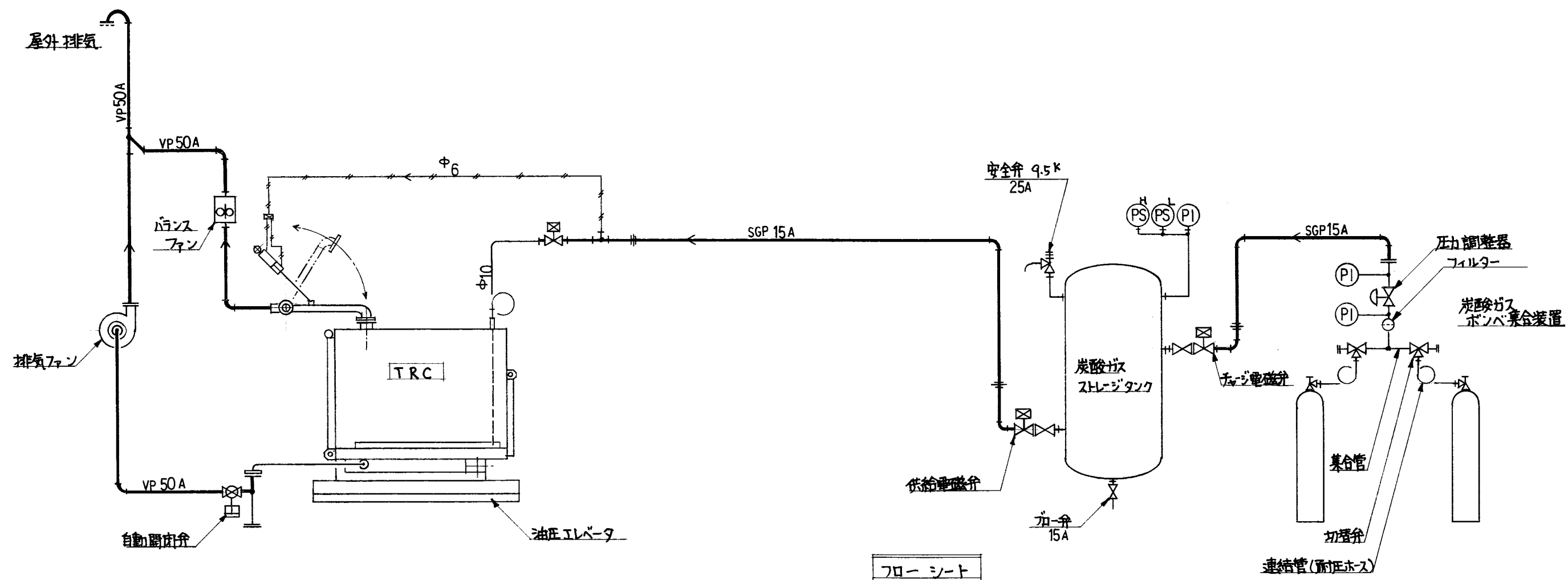
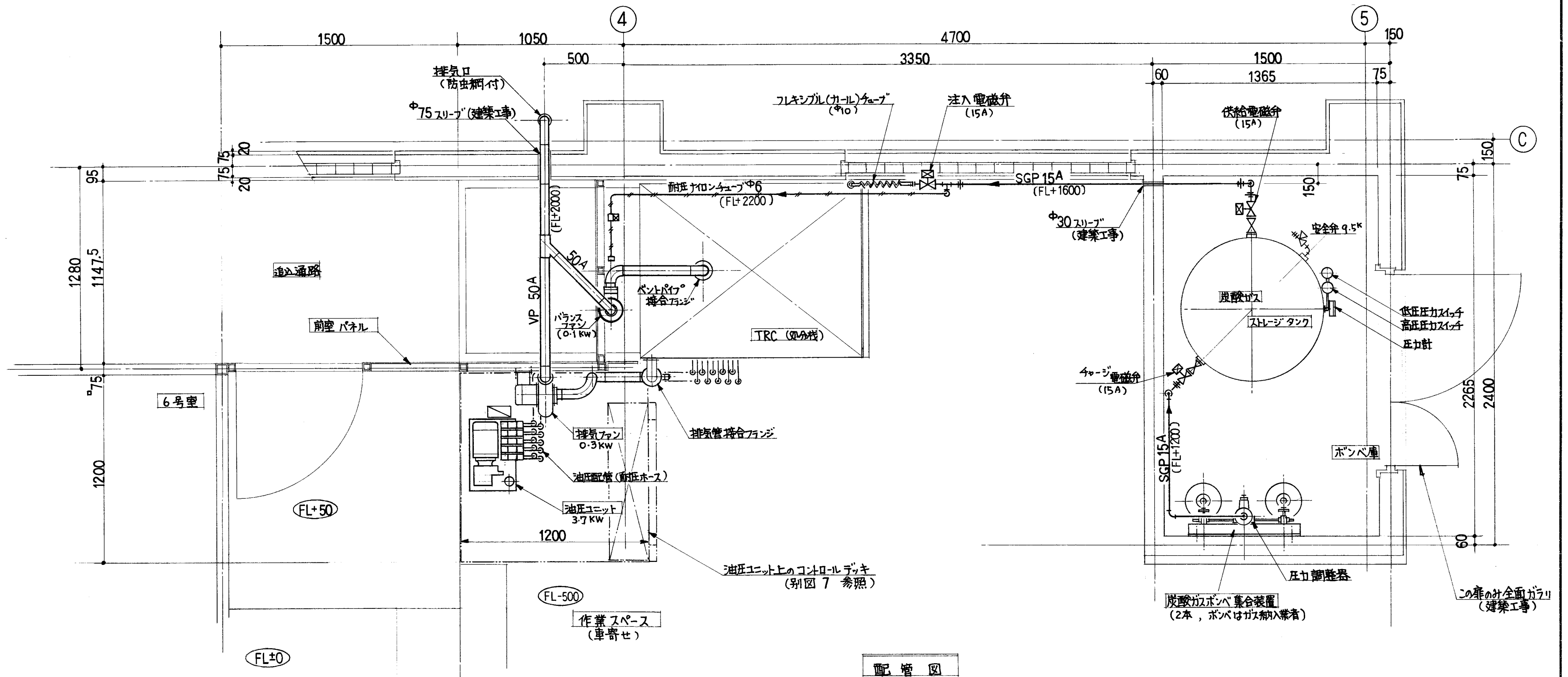
制御盤の1次側入力端子までの配線工事は除外工事とする。
以上

平成5年

図 01
180105
E 9

株式会社 エクス・プラン

		一級建築士事務所 登録番号 鳥取県第3-214号		検印	担当	作図	作図	5 年 8 月 日	工事名	米子保健所犬管理所新築等電気設備工事	E 9 / 13
		株式会社 足立建築設計事務所						SCALE	図面名	特殊機械設備工事仕様書	
		境港市福定町494 TEL(0859)42-2945 FAX(0859)44-3358 管理建築士 一級建築士登録番号145774 足立 浩									



株式会社 エクス・プラン

平成5年
01
コード No.
180105
図
E 10

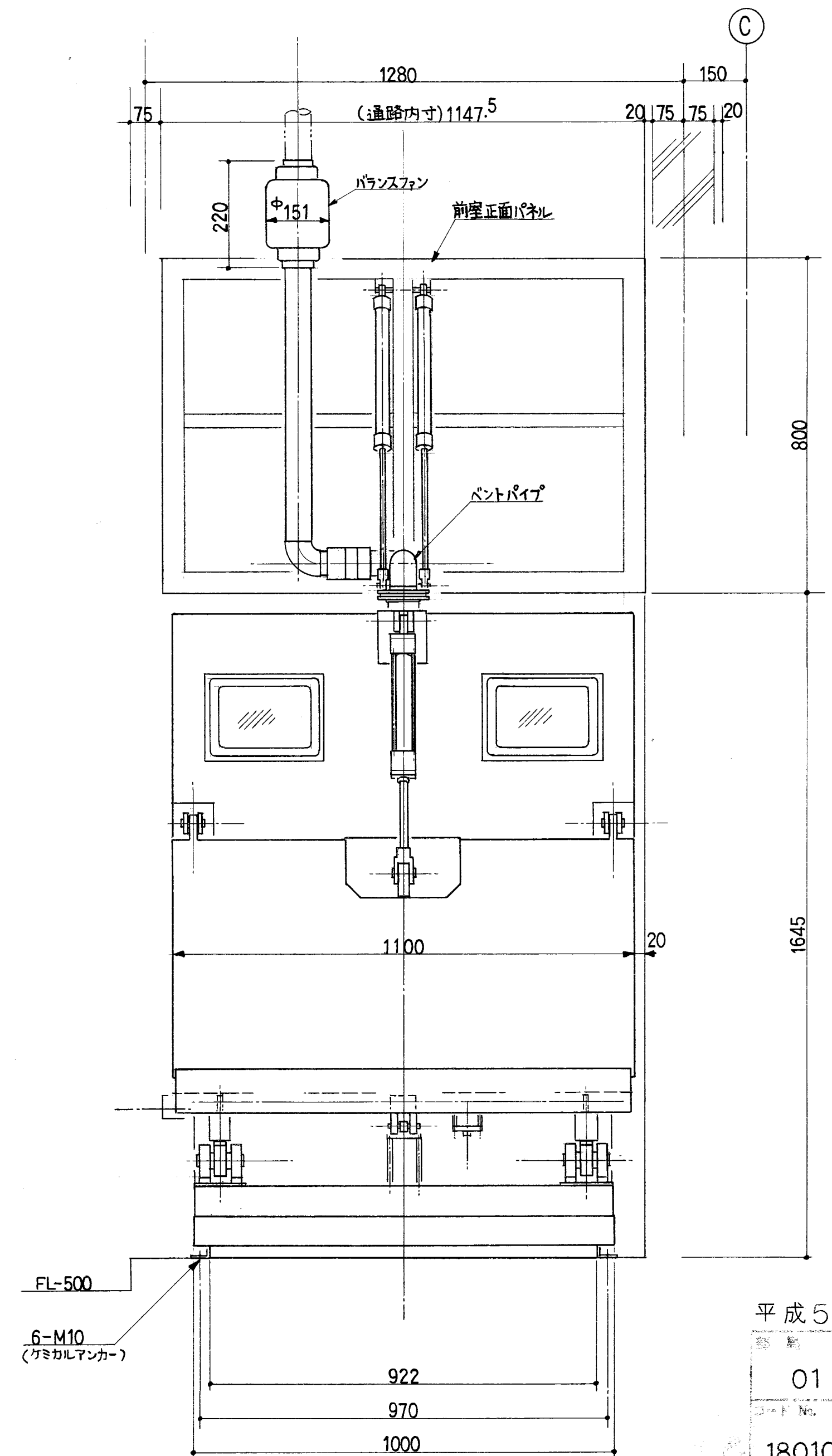
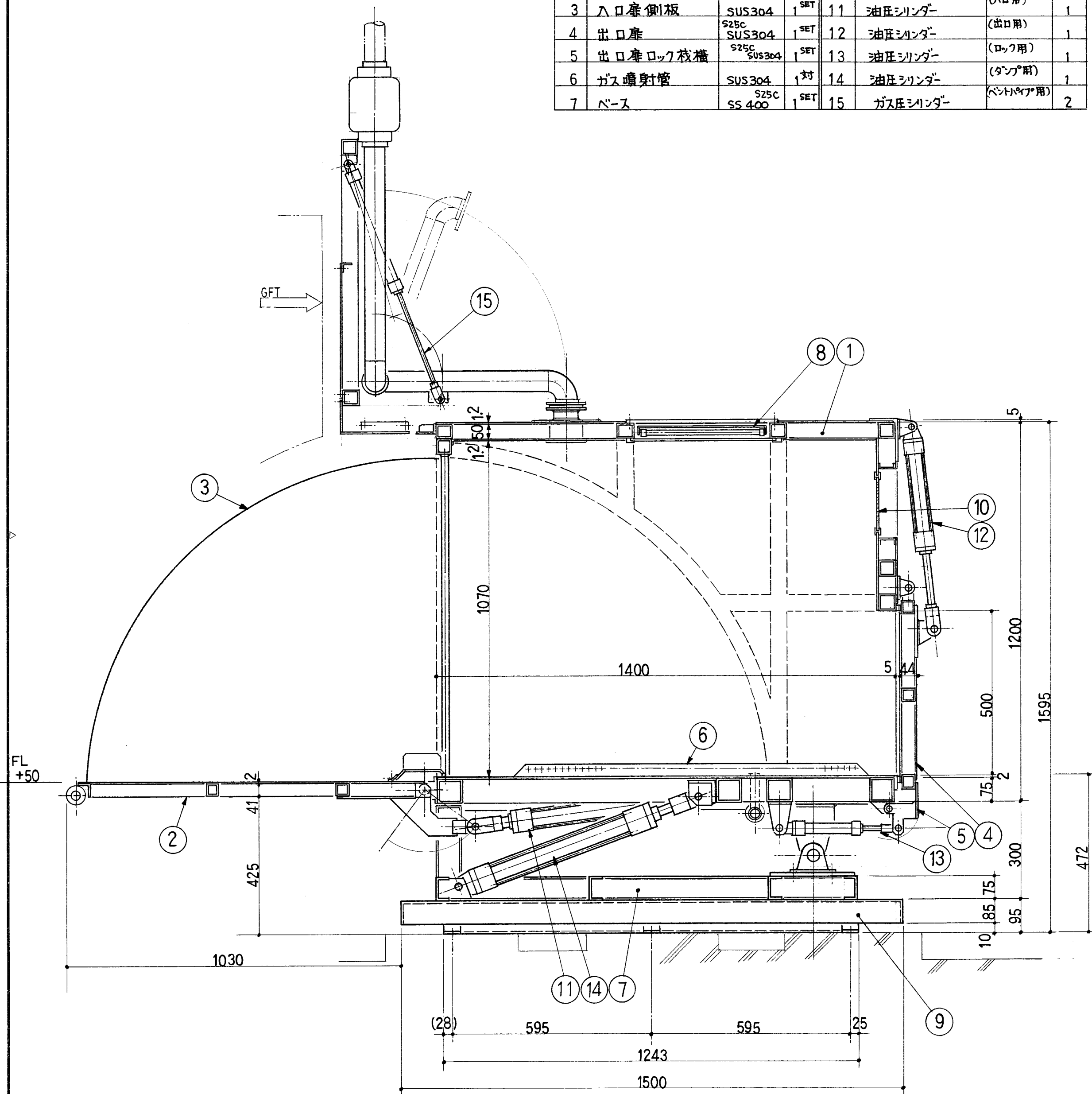
一級建築士事務所 登録番号 鳥取県第3-214号
株式会社 足立建築設計事務所
境港市福定町494 TEL (0859) 42-2945 FAX (0859) 44-3358
管理建築士 一級建築士登録番号 145774 足立 浩

検印 担当 作図 作図
5年8月 日
SCALE
1:20

工事名 米子保健所大管理所新築等電気設備工事
図面名 処分装置等設備工事 配管図・フローシート

E 10 / 13

NO.	名 称	材質 規格	個数	8	枝内照明灯	電光 20W	組
1	本体気密函	SUS304	1 SET	9	油圧リフター	S25C, S35C SS400	1
2	入口扉	S25C SUS304	1 SET	10	サイドガラス	透明アクリル	2
3	入口扉側板	SUS304	1 SET	11	油圧シリンダー	(入口用)	1
4	出口扉	S25C SUS304	1 SET	12	油圧シリンダー	(出口用)	1
5	出口扉ロック機構	S25C SUS304	1 SET	13	油圧シリンダー	(ロック用)	1
6	ガス噴射管	SUS304	1 対	14	油圧シリンダー	(ダンパー用)	1
7	ベース	S25C SS400	1 SET	15	ガス圧シリンダー	(ベントパイプ用)	2



株式会社 エクス・プラン

平成5年

01

シート No.

180105

E 11

E 11

13

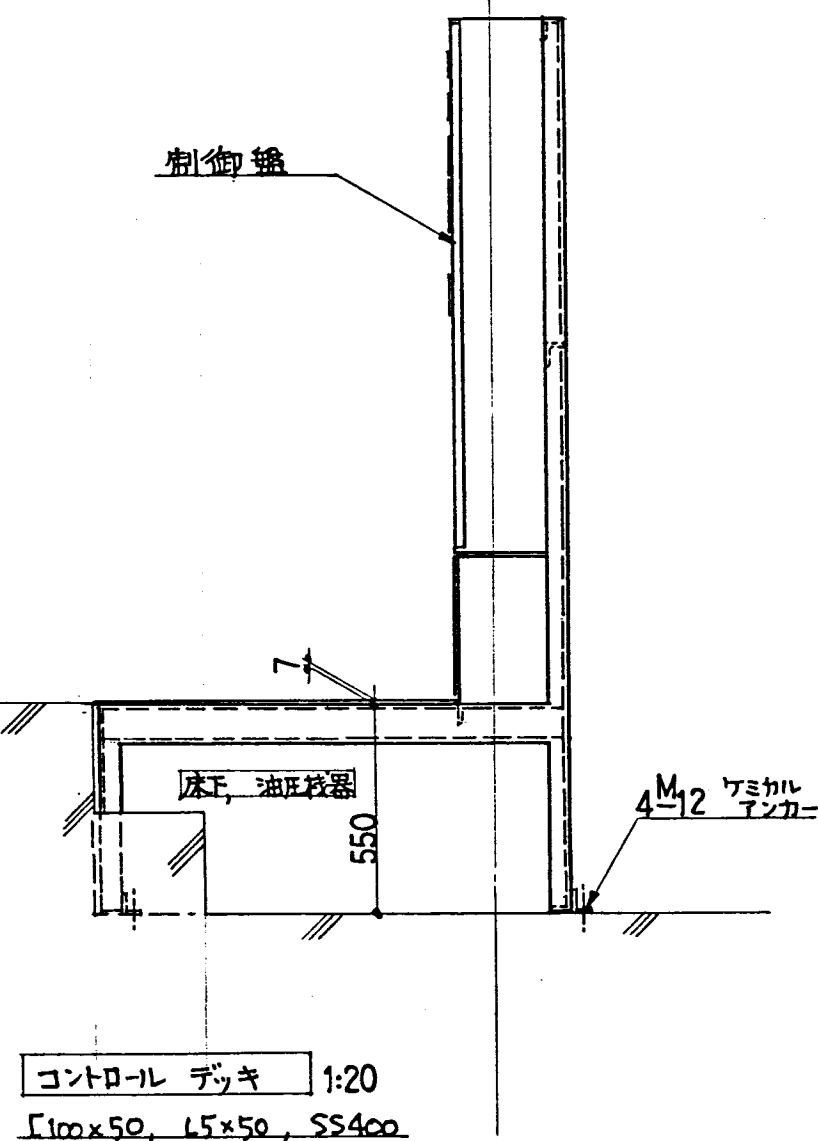
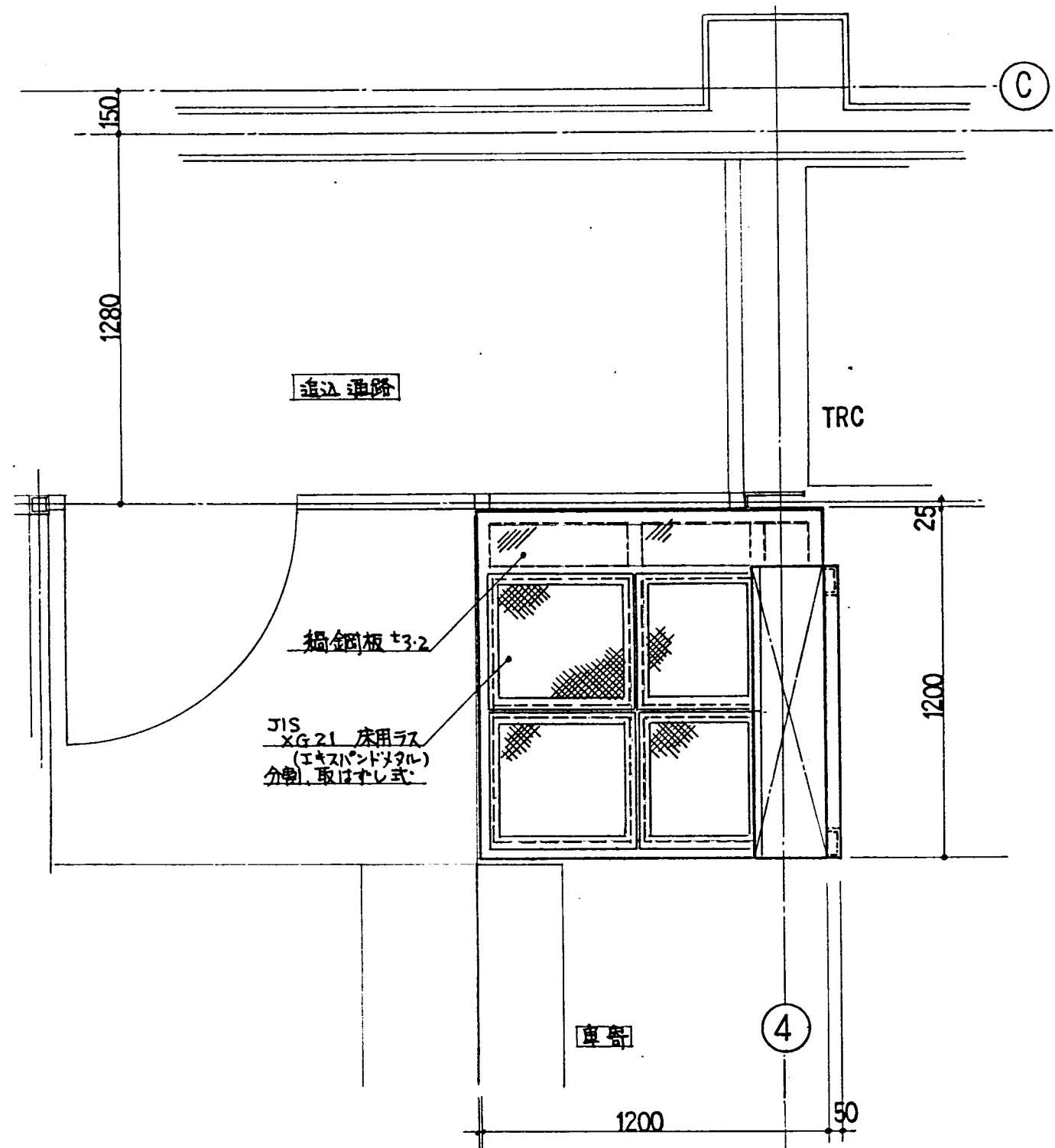
一級建築士事務所 登録番号 鳥取県第3-214号
株式会社 足立建築設計事務所
境港市福定町494 TEL (0859) 42-2945 FAX (0859) 44-3358
管理建築士 一級建築士登録番号 145774 足立 浩

検印 担当 作図 作図 5 年 8 月 日

SCALE
1:10

工事名 米子保健所犬管理所新築等電気設備工事

図面名 処分装置等設備工事 処分機外形図



コントロール デッキ 1:20
100×50, 15×50, SS400

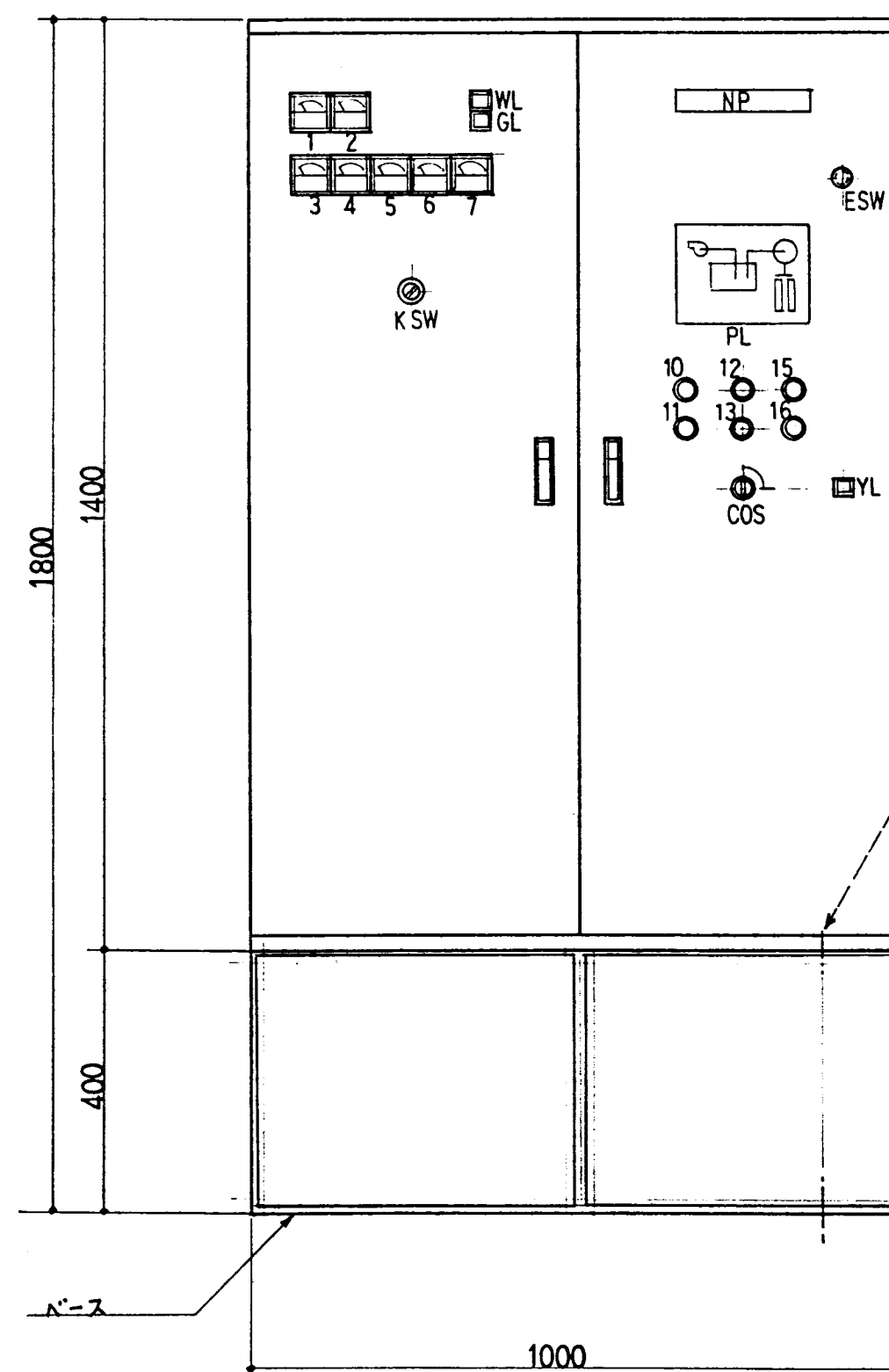
(M 8)	如分枝 バランスファン	▽TB1 油圧ユニット端子箱	▽TB2 如分枝動力端子箱	▽TB3 如分枝計装端子箱
(M 9)	如分枝 排気ファン	(M 6) 3.7KW 油圧ポンプ	(M 7) 10W モーターローラー	(AS 1) 入口差開 センサ
(SV 1)	CO ₂ ガスチャージ電磁弁	(SV 4) 入口差開油圧操作弁	螢光灯 20W 枝内照明	(AS 2) 同 閉
(SV 2)	CO ₂ ガス 注入電磁弁	(SV 5) 同 閉		(AS 3) ロック 開
(SV 3)	バントパイプ駆動用	(SV 6) 出口差開		(AS 4) ロック 閉
(LS 1)	如分枝 油圧リフト 原状	(SV 7) 同 閉		(AS 5) 出口差開
(LS 2)	同 上限	(SV 8) ロック 開		(AS 6) ダンパ上ル
(PS 1)	CO ₂ ガス圧 上限	(SV 9) 同 閉		(AS 7) ダンパ下ルセンサ
(PS 2)	CO ₂ ガス圧 下限	(SV 10) ダンパ上ル		
(M 10)	如分枝 排気電動弁	(SV 11) 同 下ル		
		(SV 12) リフト 上ル		
		(SV 13) 同 下ル油圧操作弁		

記号	名称	記
NP	銘板「特殊枝機設備制御盤」	
WL	電源ランプ	φ30, LED 白
GL	「操作電源」ランプ	φ30, 黄
YL	「手動」ランプ	φ30, 黄
KSW	「操作電源」SW	キースイッチ
ESW	「非常停止」SW	φ35
1	「油圧ポンプ」電圧計	φ60
2	「排気ファン」	
3	「1号差ゲート」	
4	「2号差ゲート」	
5	「3号差ゲート」	
6	「4号差ゲート」	
7	「5号差ゲート」	
PL	ガラス2式表示灯	200×150
10	「差開」P.B.SW	φ20
11	「ガス検知」	
12	「注入」	
13	「排出(上号)」	
14	「排出(下号)」	
15	「復旧」	
16	「入口開」	
COS	「自動切替」SW	φ20

自動操作スイッチ類は 箱内に配置

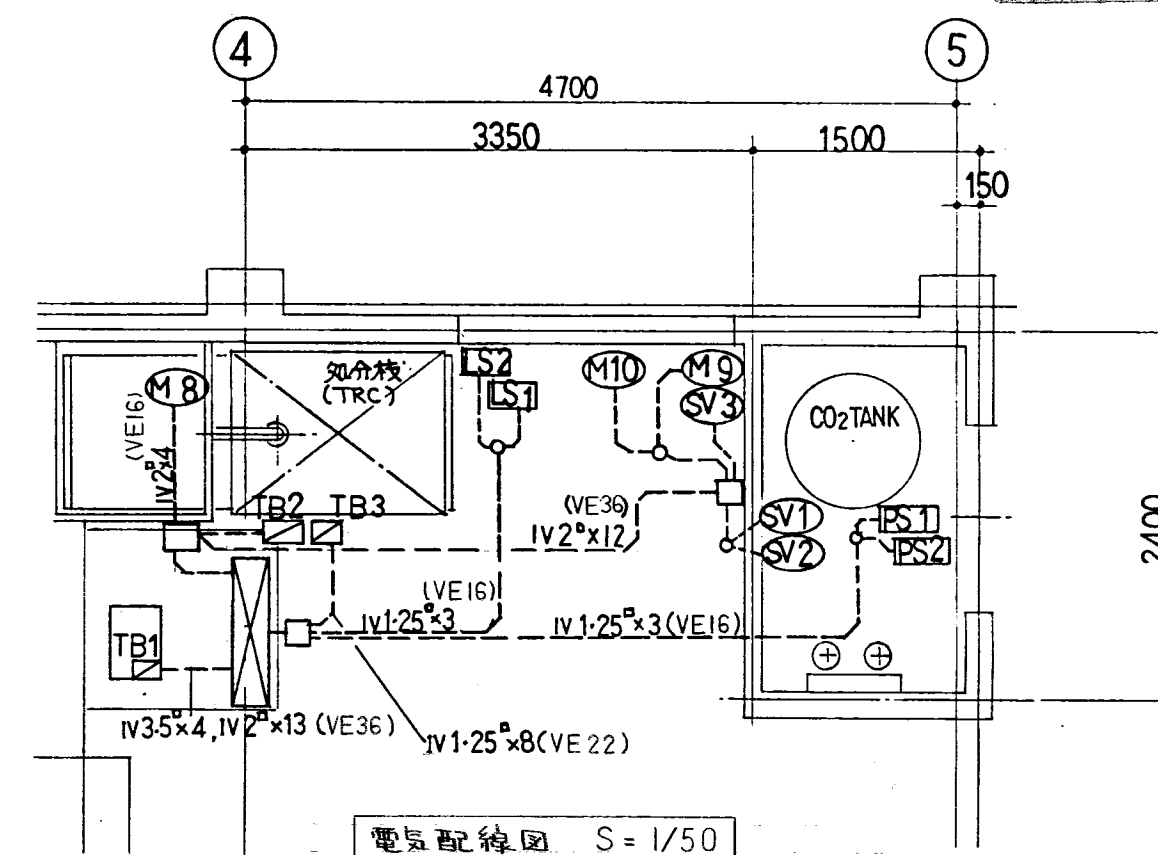
凡 例

記号	名称	備考
(SV)	電磁弁	
(TB)	端子ボックス	
(PS)	圧カススイッチ	
(LS)	リミットスイッチ	
(AS)	近接スイッチ	
□	アルボックス	VE200×150



本体 外形図

結露防止のため本体底面に 50cm²以上の 貫通 通気孔を設ける。



電気配線図 S=1/50

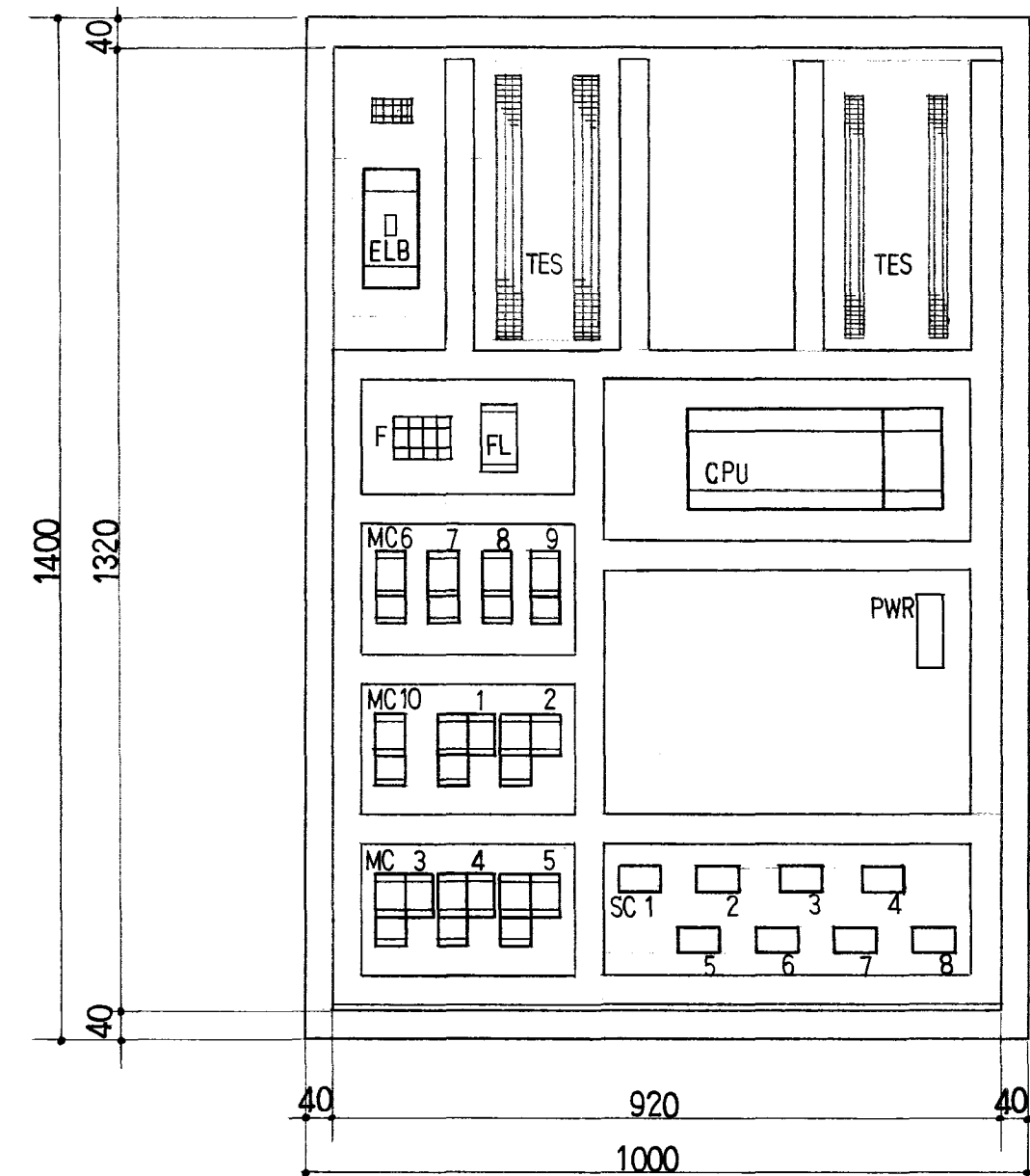
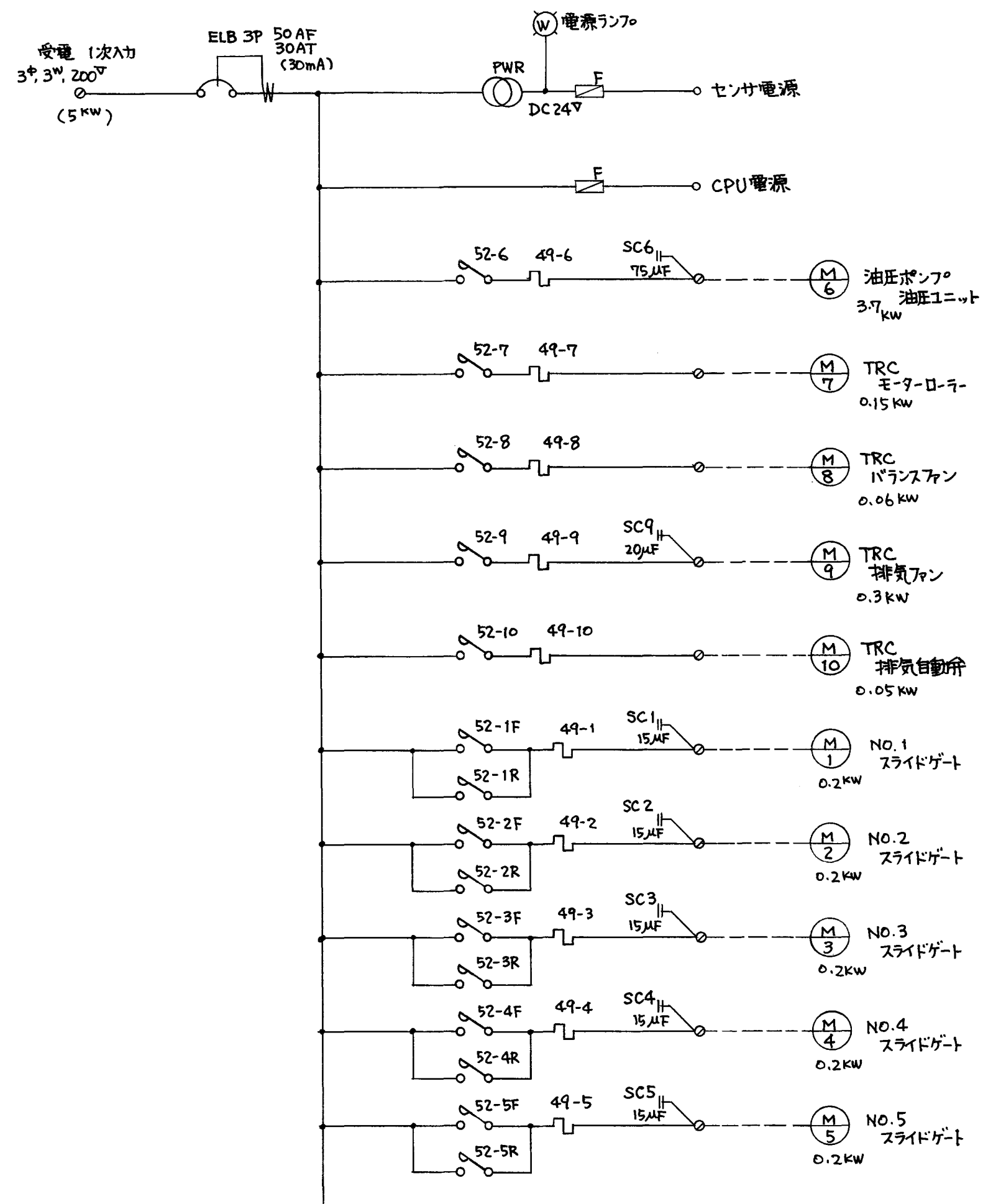
株式会社 エクス・フレイ

一級建築士事務所 登録番号 鳥取県第3-214号
株式会社 足立建築設計事務所
境港市福定町494 TEL (0859) 42-2945 FAX (0859) 44-3358
管理建築士 一級建築士登録番号 145774 足立 浩

検印 担当 作図 作図 5 年 8 月 日
SCALE S=1/50

工事名 米子保健所大管理所新築等電気設備工事
図面名 処分装置等設備工事 電気配線図・制御盤外形図

E12/13



記号	校 名	メーカー
ELB	漏電ブレーカー	三菱
F	ヒューズ	イズミ
FL	ノイズフィルター	TDK
MC	電磁開閉器	三菱
SC	進相コンデンサー	マルコン
CPU	プログラマブルコントローラ	三菱
TES	端子	イズミ
PWR	DC定電圧装置	イズミ

盤内 配置図
1:10

平成5年

01

コード No.

180105

図 番

E 13

株式会社 エクス・プラン

一級建築士事務所 登録番号 鳥取県第3-214号
株式会社 足立建築設計事務所
境港市福定町494 TEL (0859) 42-2945 FAX (0859) 44-3358
管理建築士 一級建築士登録番号 145774 足立 浩

検印 担当 作図 作図
5 年 8 月 日
SCALE

工事名 米子保健所犬管理所新築等電気設備工事
図面名 処分装置等設備工事 盤結線図・盤内配置図

E 13 / 13